



HP Designjet L25500 プリンタ シリーズ

ユーザーズ ガイド (第 2 版)

法律に関する注記

© 2010 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する明示された保証書の記載内容に限られるものとします。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切責任を負うものではありません。

2010 年 5 月版

商標

Microsoft®および Windows®は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

目次

1 はじめに	1
安全に関する注意事項	1
プリンタの主な機能	4
プリンタの主なコンポーネント	5
内蔵 Web サーバ	8
2 接続およびソフトウェア手順	10
接続方法	10
ネットワークに接続する	10
3 セットアップのオプション	12
プリンタ設定オプション	12
内蔵 Web サーバ設定オプション	14
4 素材の取り扱い	16
概要	16
ロール紙をスピンドルに取り付ける	17
ロール紙をプリンタに取り付ける (自動)	20
ロール紙をプリンタに取り付ける (手動)	23
ロール紙をプリンタから取り外す	26
巻き取りリールを使用する	27
テキスタイル タイプのメディアを取り付ける	37
素材に関する情報を表示する	39
メディアの長さのトラッキング機能	39
素材を保管する	40
メディア プリセットをダウンロードする	41
新しい素材の種類を追加する	41
カラー キャリブレーション	48
カラー プロファイル	49
5 インク システム取り扱い	50
インク システム コンポーネント	50
インク システムのヒント	53
インク システム コンポーネントの取り扱い	53
インク サプライ品について	69

6 印刷オプション	71
プリンタの状態	71
マージンを変更する	71
プリンタの印刷メニューを要求する	72
7 アクセサリ	73
アクセサリについて	73
8 プリンタの仕様	74
プリンタ機能の仕様	74
物理的仕様	75
メモリの仕様	75
電源の仕様	75
エコロジーに関する仕様	75
動作環境の仕様	76
動作音に関する仕様	76
用語集	77
索引	79

1 はじめに

安全に関する注意事項

プリンタを使用する前に、安全に関する次の注意事項を読んで、装置を安全に使用してください。

一般的な安全に関するガイドライン

- プリンタを電源に接続する前に、設置についての指示を参照してください。
- プリンタ内部には、オペレータが操作可能な部品はありません。保守作業は、資格を有するサービス担当者に依頼してください。
- 次のいずれかの場合には、プリンタの電源をオフにして、電源コンセントから両方の電源ケーブルを抜き、サービス担当者にご連絡ください。
 - 電源コードまたはプラグが破損している。
 - プリンタに液体が入り込んでいる。
 - プリンタから煙が出たり、異様な臭いがする。
 - プリンタを落としたか、乾燥モジュールまたは硬化モジュールが破損している。
 - プリンタ内蔵の残留電流ブレーカー（漏電遮断器）が繰り返し落ちる。
 - ヒューズが飛ぶ。
 - プリンタが正常に動作しない。
- 次のいずれかの場合には、プリンタの電源をオフにして、電源コンセントから両方の電源ケーブルを抜いてください。
 - 雷雨時
 - 停電時

感電による危険


- △ **警告！** 乾燥モジュールと硬化モジュールは、死亡または重大な人身事故につながる可能性のある危険電圧で動作します。

プリンタには2本の電源コードがあります。プリンタの保守作業を行う前に、両方の電源コードを抜いてください。プリンタは、接地されたメイン コンセントに接続する必要があります。

感電の恐れを防止するため、次の点を守ってください。

- 乾燥モジュールおよび硬化モジュールや、電気制御キャビネットを解体しないでください。
- 閉じられたシステムのカバーや差し込み口を取り外したり開いたりしないでください。

- オブジェクトをプリンタのスロットに差し込まないでください。
- 残留電流ブレーカー (RCCB) の機能を 6 か月ごとにテストしてください (詳細については、『メンテナンス ガイド』を参照してください)。

 **注記：** ヒューズが飛ぶ場合は、システム内の電気回路が故障している可能性があります。サービス担当者に連絡し、ヒューズの交換は自分で行わないでください。

残留電流ブレーカー (RCCB) の機能の確認

標準的な残留電流ブレーカー (RCCB) の推奨事項に従ってください。RCCB は 6 か月ごとにテストすることをお勧めします。手順の詳細については、『メンテナンスおよびトラブルシューティング ガイド』を参照してください。

熱による危険

プリンタの乾燥および硬化用サブシステムは高温で稼働しているため、触ると火傷をする可能性があります。人身事故を防止するため、以下の注意事項に従ってください。


- プリンタの乾燥モジュールおよび硬化モジュールの内部筐体に触れないでください。乾燥および硬化の電源を切断するウィンドウ ラッチを開いた後でも、内部の表面は熱い可能性があります。
- 素材の経路に触れる場合は、特に注意してください。

発火の危険

プリンタの乾燥および硬化用サブシステムは高温で稼働しています。プリンタ内蔵の残留電流ブレーカー (漏電遮断器) が繰り返し落ちる場合は、サービス担当者にご連絡ください。

発火の恐れを防止するため、以下の注意事項に従ってください。

- 製品プレートに示された電源電圧を使用してください。
- 電源コードは、それぞれコンセントの定格に従った分岐ブレーカーによって保護された専用の線に接続してください。たこ足配線 (移動可能な電源タップ) を使用して、両方の電源コードを使用しないでください。
- プリンタ付属の HP が提供する電源コード以外は使用しないでください。破損した電源コードを使用しないでください。他の製品の電源コードを使用しないでください。
- オブジェクトをプリンタのスロットに差し込まないでください。
- 液体がプリンタにこぼれないように注意してください。
- 可燃性ガスを含むエアゾール製品を、プリンタの内部または周囲で使用しないでください。
- プリンタの開口部を遮断したり、覆わないでください。
- 乾燥モジュールまたは硬化モジュールや、電気制御キャビネットを解体しないでください。
- 取り付けられた素材が製造元の推奨する動作温度を超えていないことを確認してください。推奨する動作温度が製造元から入手できない場合は、125°C (257°F) 以下の動作温度で使用する素材を取り付けてください。
- 自動発火温度が 300°C (508°F) 以下の素材は取り付けしないでください。以下の注記を参照してください。

 **注記：** テスト方法は、EN ISO 6942:2002 のテスト B (放射熱源にさらされたときの素材および素材組み立ての評価) に基づいています。素材の発火 (炎を出すか光を放つ) 温度を特定するためのテスト条件には、熱流束密度 (30kW/m2)、銅熱量計、K 型熱電対を使用しました。

機械的危険

プリンタには人身事故の原因になる可能性のある可動部分があります。人身事故を防止するため、プリンタの近くで作業する場合は、以下の注意事項に従ってください。

- 衣服や身体はプリンタの可動部分から離してください。
- ネックレス、ブレスレットなど、垂れ下がる物体の着用は避けてください。
- 長髪の場合は、頭髮がプリンタ内に落下しないように留めてください。
- 袖や手袋がプリンタの可動部分に巻き込まれないように注意してください。
- ファンの近くに立たないでください。人身事故につながったり印刷品質に影響を及ぼす可能性があります (エアフローが遮断されるため)。
- 印刷時にギアや移動ロールに触れないでください。

重量のある素材による危険

人身事故を避けるため、重量のある素材を扱う場合は特に注意が必要です。

- 重い素材ロールを扱う際は、複数名必要なことがあります。背中に負担をかけたり痛めたりしないように注意してください。
- フォークリフトやパレット トラックなどの荷役機器を使用することを検討してください。
- 重い素材ロールを扱うときは、長靴や手袋などの保護用具を着用してください。

インクの取り扱い



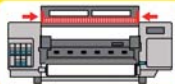

このプリンタには溶剤インクが使用されていないため、溶剤インクに関連する従来の問題は発生しませんが、インク システム コンポーネントを扱う場合は、手袋の着用をお勧めします。

警告および注意

このマニュアルでは、プリンタを適切に使用して破損を防ぐために、次の記号が使用されています。これらの記号の付いた手順に従ってください。

- △ **警告！** この記号の付いたガイドラインに従わない場合、重大な人身事故または死亡につながる恐れがあります。
- △ **注意：** この記号の付いたガイドラインに従わない場合、人身事故または製品の破損につながる恐れがあります。

警告ラベル

ラベル	説明
	火傷の恐れ。プリンタの乾燥モジュールおよび硬化モジュールの内部筐体に触れないでください。
  	火傷の恐れ。プリンタの乾燥筐体に触れないでください。乾燥モジュールおよび硬化モジュールの電源を切断するウィンドウ ラッチを開いた後でも、内部の表面は熱い可能性があります。

ラベル	説明
	<p>感電による危険。プリンタには2本の入力電源コードがあります。主電源をオフにした後も、乾燥モジュールと硬化モジュールに電圧が残っています。プリンタ内部には、オペレータが操作可能な部品はありません。保守作業は、資格を有するサービス担当者に依頼してください。プリンタの保守作業を行う前に、すべての電源コードを取り外してください。</p>
<p>SEE INSTALLATION INSTRUCTIONS BEFORE CONNECTING TO THE SUPPLY.</p>	<p>電源に接続する前に、設置についての指示を参照してください。入力電圧がプリンタの定格電圧の範囲内であることを確認してください。プリンタには、それぞれコンセントの定格に従った分岐ブレーカーによって保護された専用の線が2本必要です。接地されたメイン コンセントと、プリンタ付属の HP が提供する電源コード以外は使用しないでください。</p>
	<p>手が巻き込まれる危険。取り付け時にロールを押さないでください。取り付けテーブルを上げると、スピンドルをプリンタに簡単に取り付けることができます。</p>
	<p>指が巻き込まれる危険。印刷時にスピンドル ギアに触れないでください。</p>
	<p>プリンタの上部に物を置かないでください。ファンを覆わないでください。</p>
	<p>インクカートリッジ、プリントヘッド クリーニング カートリッジ、プリントヘッド クリーニング コンテナを扱う場合は、手袋の着用をお勧めします。</p>

プリンタの主な機能

このプリンタは、ご使用のプリンタ モデルに応じて、幅 584mm (23 インチ) から 1.07 または 1.52m (42 または 60 インチ) までの幅広い素材に高品質のイメージを印刷するために設計されたカラー インクジェット プリンタです。主な機能を以下に示します。

- 試し印刷モードでの印刷速度は、60 インチ幅対応のプリンタの場合は最速で毎時 24m² (毎時 250 平方フィート)、42 インチ幅対応のプリンタの場合は最速で毎時 21m² (毎時 220 平方フィート) です。
- 環境に優しく、無臭の水性ラテックス インク 6 色
- 特殊な換気不要。有害廃棄物なし。
- 775 ml インクカートリッジ

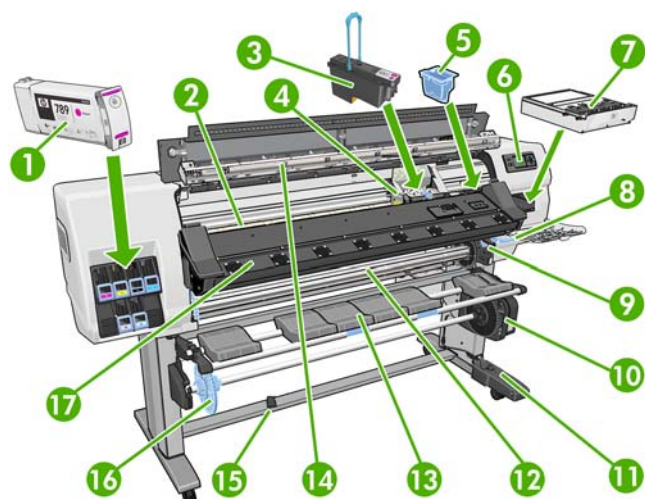
- 大多数の低コストで、コーティング加工されていない、溶媒対応の素材を含むさまざまな素材への印刷が可能
- HP 指定のリサイクル可能素材を使用可
- ラミネート加工なしで 3 年間、ラミネート加工付きで 5 年間の高い耐久性で屋外表示に使用可能な印刷物
- 自動カラーキャリブレーションによる、正確で一貫したカラー再現 (分光測光器内蔵)
- ENERGY STAR®準拠製品

印刷ジョブをプリンタに送るには、Raster Image Processor (RIP) ソフトウェアが必要です。RIP ソフトウェアは、別のコンピュータで実行する必要があります。RIP ソフトウェアは、複数の会社から入手できますが、プリンタには付属していません。

プリンタの主なコンポーネント

以下のプリンタの図で、主なコンポーネントについて説明します。

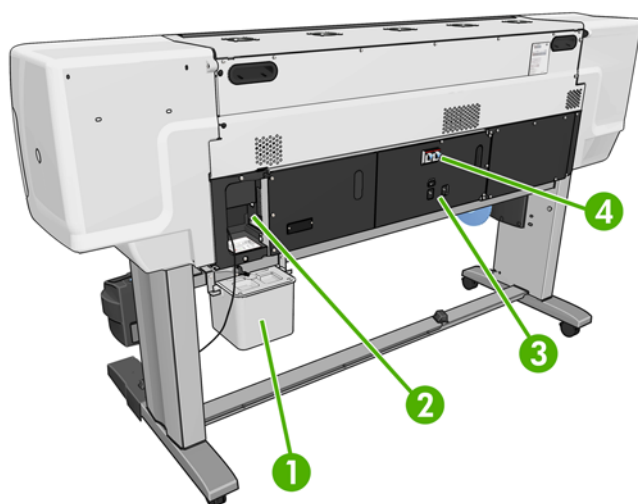
前面図 (60 インチ プリンタ)



1. インクカートリッジ
2. プラテン
3. プリントヘッド
4. プリントヘッド キャリッジ
5. インク ファネル
6. フロントパネル
7. プリントヘッド クリーニング カートリッジ
8. 素材調整レバー
9. スピンドル ロック レバー
10. 巻き取りリール モーター
11. 巻き取りリール ケーブルおよびセンサー格納ユニット
12. スピンドル

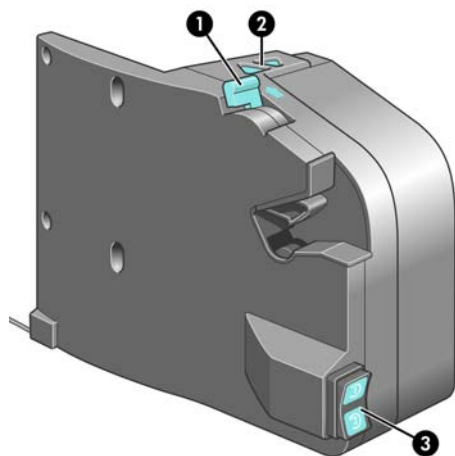
- 13. 取り付けテーブル/巻き取りリール デフレクタ
- 14. 乾燥モジュール
- 15. 巻き取りリール センサー
- 16. 巻き取りリール スピンドル ストップ
- 17. 硬化モジュール

背面図 (60 インチ プリンタ)



- 1. プリントヘッド クリーニング コンテナ
- 2. 接続ケーブルおよびオプション アクセサリ用ソケット
- 3. 電源スイッチおよび電源ソケット
- 4. 加熱コンポーネント用残留電流ブレーカー

巻き取りリール モーター



- 1. 巻き取りリール スピンドル レバー
- 2. 手動巻き取りボタン
- 3. 巻き取り方向スイッチ

フロントパネル

プリンタのフロントパネルは、プリンタ前面の向かって右側にあります。フロントパネルには、以下の重要な機能があります。

- トラブルシューティングのための情報アシスト。
- 素材の取り外しやプリンタの保守など、特定の物理的操作を実行する際に使用します。
- プリンタのステータスに関する情報を簡略に表示します。
- 場合に応じて、警告やエラーメッセージが表示され、警告やエラーメッセージに対する注意を促すために警告音が鳴ります。



フロントパネルには、以下のコンポーネントがあります。

1. **電源** ボタン：プリンタをオフにします。[12 ページの「プリンタをオン/オフにする」](#)を参照してください。
2. **電源ランプ**：プリンタの電源ステータスを示します。このランプが消灯している場合、プリンタの電源はオフになっています。緑色に点灯している場合、プリンタの電源はオンになっています。緑色に点滅している場合、プリンタはオンとオフの切り替え中です。
3. **フロントパネルの表示**：プリンタの使用に関するエラー、警告、および情報を表示します。
4. **ステータス ランプ**：プリンタの動作状態を示します。このランプが消灯している場合は、プリンタの印刷準備ができていません。ランプが緑色に点灯している場合、プリンタは印刷可能でアイドル状態です。ランプが緑色に点滅している場合、プリンタはビジー状態で、データ受信、処理中、または印刷中です。ランプが黄色に点滅している場合は、対処が必要です。ランプが黄色に点灯している場合、深刻なエラーが発生しています。
5. **上矢印** ボタン：メニューやオプション内を上に移動したり、数値を増やします。
6. **OK** ボタン：手順の実行中または操作中に操作を確定します。メニューでサブメニューを表示します。オプションがある場合に値を選択します。
7. **下矢印** ボタン：メニューやオプション内を下に移動したり、数値を減らします。
8. **戻る** ボタン：手順実行中または操作中に前の手順に戻ります。上位レベルに移動する、メニューのオプションから外れる、またはオプションがある場合に使用します。
9. **キャンセル** ボタン：手順または操作を取り消します。
10. **リセット** ボタン：プリンタを再起動します（スイッチを一度オフにしてから再度オンにする操作に類似）。このボタンを操作する際は、先の細い器具を使用する必要があります。
11. **素材を移動** ボタン：取り付けた素材を前後に移動します。プリンタの印刷中に、その場で使用して素材送りを微調整できます。

フロントパネルの表示上の項目をハイライトさせるには、その項目がハイライトされるまで **上矢印** または **下矢印** ボタンを繰り返し押します。

フロントパネルの表示上の項目を選択するには、まずその項目をハイライトして、OK ボタンを押します。

このガイドで、フロントパネル表示の一連の項目が、[項目 1] - [項目 2] - [項目 3] のように記述されている場合は、[項目 1]、[項目 2]、[項目 3] の順に選択してください。

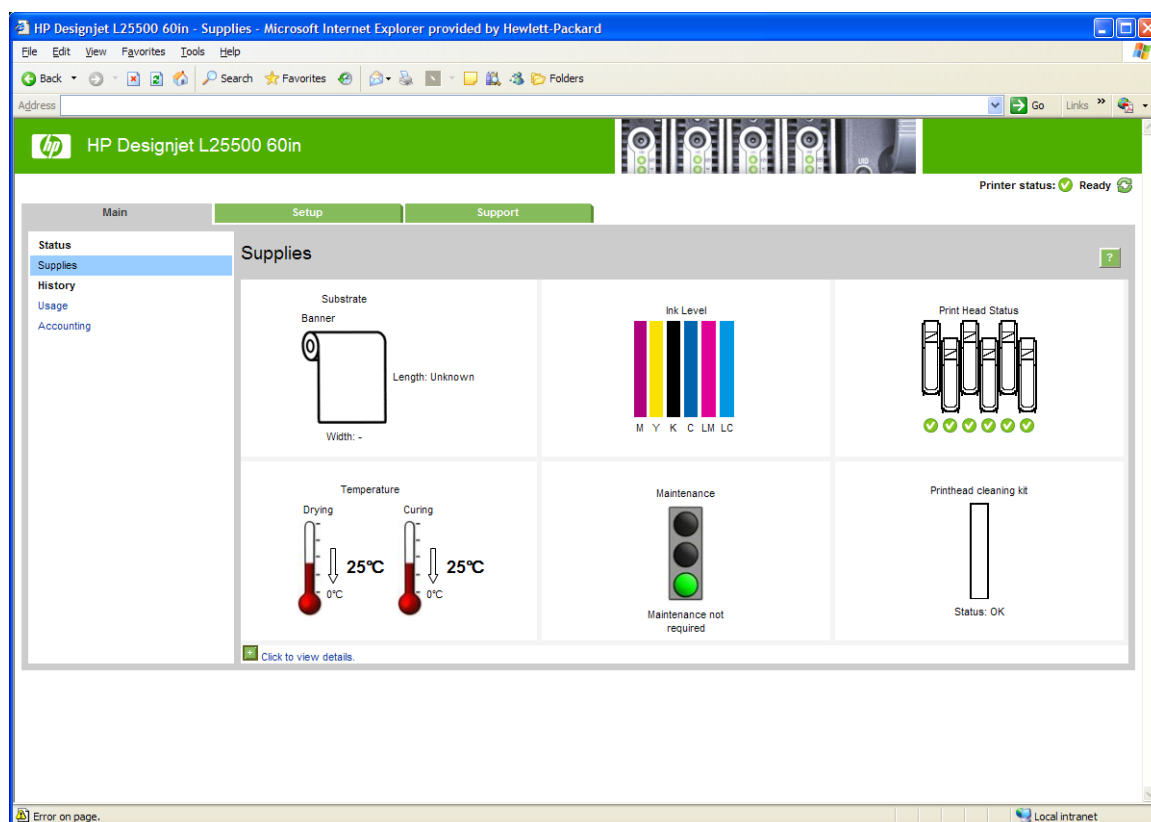
フロントパネルの特定の使用方法についての詳細は、このガイドで順を追って説明します。

内蔵 Web サーバ

内蔵 Web サーバはプリンタ内部で実行される Web サーバです。ユーザは内蔵 Web サーバを使用して、プリンタ情報の入手、設定やプリセットの管理、プリントヘッドの軸合わせ、新規ファームウェアのアップロード、および問題のトラブルシューティングを行うことができます。サービス エンジニアは、内蔵 Web サーバを使用して、プリンタの問題を診断するのに役立つ内部情報を取得できます。

内蔵 Web サーバにリモートからアクセスするには、コンピュータで一般的に使用される Web ブラウザを使用します。[14 ページの「内蔵 Web サーバにアクセスする」](#)を参照してください。

内蔵 Web サーバのウィンドウには 3 つの個別のタブが表示されます。各ページの上部の近くにあるボタンで、オンライン ヘルプへのアクセスとサプライ品の注文ができます。



メイン タブ

[メイン] タブでは、次の項目に関する情報が提供されます。

- 素材、インク、プリントヘッド、および保守に関するステータス
- 乾燥モジュールおよび硬化モジュールの温度
- 素材およびインクの使用状況とアカウンティング

セットアップ タブ

【セットアップ】タブには、次のタスクを実行するためのオプションが含まれます。

- 測定単位や更新日などのプリンタ設定を指定する
- ネットワーク設定とセキュリティ設定を指定する
- 日付と時刻を設定する
- ファームウェアをアップデートする
- プリントヘッドの軸合わせ
- メディア プリセットをアップロードする

サポート タブ

【サポート】タブには、次の機能を実行するためのオプションが含まれます。


- さまざまなソースから役に立つ情報を参照する
- HP Designjet リンクにアクセスして、プリンタおよびアクセサリに関する技術サポートを得る
- サービス サポート ページにアクセスして、プリンタの使用状況に関する現在および過去のデータを表示する

2 接続およびソフトウェア手順

接続方法

プリンタの接続方法は以下のとおりです。

接続の種類	速度	ケーブルの最大長	その他
ギガビットイーサネット	高速。ネットワークトラフィックによって速度は異なります。	長い (100m=328 フィート)	追加機材 (スイッチ) 要

 **注記：** ネットワーク接続速度は、ネットワーク上のすべてのコンポーネントに左右されます。これには、ネットワーク インタフェース カード、ハブ、ルータ、スイッチ、ケーブルなどがあります。コンポーネントのいずれかが高速で処理を行えない場合、接続速度は遅くなります。また、ネットワーク上の他のデバイスから送信される総トラフィック量も、接続速度に影響を与えます。

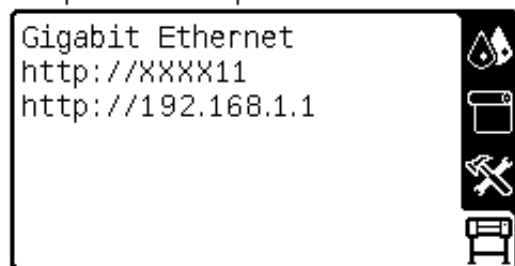
ネットワークに接続する

手順を実行する前に、以下を確認してください。

- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- ギガビット スイッチまたはルータの電源が入っていて、正常に機能している。
- ネットワーク上のすべてのコンピュータの電源が入っていて、ネットワークに接続されている。
- プリンタがスイッチに接続されている。

プリンタをネットワークに接続しプリンタの電源を入れたら、フロントパネルにプリンタの IP アドレスが表示されるのを確認してください (この例では、192.168.1.1)。表示された IP アドレスは、メモしておいてください。この IP アドレスは、後で内蔵 Web サーバにアクセスするとき使用できます。

Ready
Temp. OK to open window



この画面で IP アドレスを確認できなかった場合は、プリンタがネットワークに正常に接続されていないか、ユーザのネットワークに DHCP サーバが存在しないことが考えられます。DHCP サーバが存在しない場合は、IP アドレスを手動で設定する必要があります。『メンテナンスおよびトラブルシューティング ガイド』を参照してください。

RIP ソフトウェアをインストールするには、RIP の手順書 (HP 製品には付属していません) を参照してください。

3 セットアップのオプション

プリンタ設定オプション

プリンタをオン/オフにする

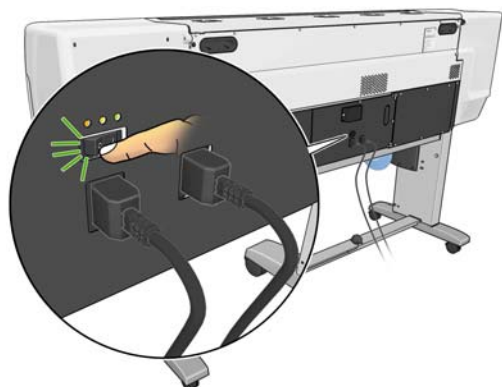
プリンタの電源をオンにする前に、プリンタの背面にある電源スイッチがオンであること、および残留電流ブレーカーが上の位置になっていることを確認します。確認したら、フロントパネルの **電源** ボタンを押します。オンにしたままでも、電力は無駄になりません。電源をオンのままにすることにより、応答時間が向上します。一定時間使用しない場合、プリンタはスリープ モードに移行して電力を節約します。何らかの操作を行うとただちにアクティブ モードに戻り、印刷を再開することができます。

プリンタの電源のオン/オフを切り替える場合、通常はフロントパネルの **電源** ボタンを使用することをお勧めします。



この方法でプリンタの電源をオフにすると、プリントヘッドが自動的にプリントヘッド クリーニング カートリッジと接する形で格納され、プリントヘッドの乾燥を防止します。

ただし、長期間プリンタの電源をオフのままにする場合は、**電源** ボタンで電源をオフにした後、背面の電源スイッチも切ることをお勧めします。



電源を入れ直すには、背面の電源スイッチをオンにしてから、**電源** ボタンを押します。

プリンタの電源を入れると、プリンタの初期化に 10 分間ほど時間がかかります。


プリンタを再起動する

状況によって、プリンタの再起動を勧めるメッセージが表示される場合があります。その場合は、以下の手順に従います。

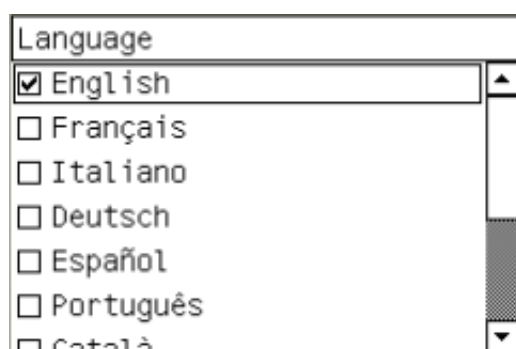
1. フロントパネルの **電源** ボタンを押してプリンタの電源を切り、しばらく待ちます。次に **電源** ボタンをもう一度押します。これでプリンタが再起動します。再起動されない場合は、手順 2 に進んでください。
2. フロントパネルの **リセット** ボタンを使用します。先の細い非伝導性の道具を使用して **リセット** ボタンを押します。通常、これは **電源** ボタンを押した場合と同じ結果になりますが、**電源** ボタンが機能しない場合にこの操作を行います。
3. 手順 1 と手順 2 のいずれを試しても再起動できない場合は、プリンタの背面にある電源スイッチを使用してプリンタの電源をオフにします。残留電流ブレーカーが上の位置になっていることを確認します。
4. 電源コードを電源ソケットから取り外します。
5. 10 秒間ほど待ちます。
6. 電源コードを電源ソケットに差し込み、電源スイッチを押してプリンタの電源を入れます。
7. フロントパネルの電源ランプが点灯していることを確認してください。点灯しない場合は、**電源** ボタンを押してプリンタの電源を入れます。

フロントパネルの表示の言語を変更する

フロントパネルのメニューおよびメッセージの言語を変更する方法は 2 つあります。

- 現在表示されているフロントパネルの言語を理解できる場合は、フロントパネルで  アイコンを選択し、次に **【フロントパネル オプション】** - **【言語の選択】** を選択します。
- 現在表示されているフロントパネルの言語が分からない場合は、まずプリンタの電源を切ります。フロントパネルで、**OK** ボタンを押します。**OK** ボタンを押したままの状態、**電源** ボタンを押します。フロントパネルの左側にある緑色のランプが点滅し始めるまで両方のボタンを押し続け、両方のボタンを放します。これには約 1 秒かかります。緑色のランプがすぐに点滅し始めた場合は、やり直す必要があります。

どちらの方法でも、フロントパネルに言語選択メニューが表示されます。




希望する言語をハイライトさせて **OK** ボタンを押します。


特定のエラー状態についての電子メール通知を要求する

1. 内蔵 Web サーバで、[セットアップ] タブにある [メール サーバ] ページに移動し、以下のフィールドが正しく入力されていることを確認します。
 - [SMTP サーバ]。プリンタから送信されるすべての電子メール メッセージを処理する送信メール サーバ ([SMTP] 簡易メール転送プロトコル) の IP アドレス。メール サーバが認証を必要とする場合、電子メール通知は機能しません。
 - [プリンタのメール アドレス]。プリンタから送信される各電子メール メッセージには、返信用アドレスを含める必要があります。このアドレスは実際には機能しなくても、固有のアドレスである必要があります。メッセージの受信者が送信元のプリンタを識別できるようにするためです。
2. [セットアップ] タブにある [通知] ページに移動します。
3. [新規] アイコンをクリックして新しい通知を要求するか、[編集] アイコンをクリックして既存の通知を編集します。通知が送信される先の電子メール アドレスを選択し、エラーが発生した場合に通知メッセージを送信する項目を選択します。


スリープ モード設定を変更する

プリンタの電源をオンにしたまま一定時間使用しなかった場合、電力節約のため、プリンタは自動的にスリープ モードへ移行します。デフォルトの待ち時間は 30 分間です。プリンタがスリープ モードに移行するまでの待機時間を変更するには、フロントパネルで  アイコンを選択し、次に [フロントパネル オプション] - [スリープ モード待ち時間] を選択します。必要な待ち時間をハイライトさせて OK ボタンを押します。

フロントパネルの表示のコントラストを変更する

フロントパネルの表示のコントラストを変更するには、 アイコンを選択し、次に [フロントパネル オプション] - [画面コントラストの選択] を選択して、**上矢印** または **下矢印** ボタンで値を選択します。OK ボタンを押して、その値を設定します。

測定単位を変更する

フロントパネルに表示される測定単位を変更するには、 アイコンを選択し、[フロントパネル オプション] - [単位の選択] を選択して、[インチ] または [メートル] を選択します。

測定単位は内蔵 Web サーバでも変更できます。

内蔵 Web サーバ設定オプション

内蔵 Web サーバにアクセスする

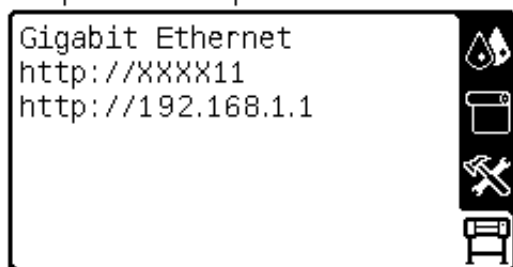
内蔵 Web サーバを使用すると、コンピュータで一般的に使用される Web ブラウザから、プリンタ情報をリモートで表示できます。

内蔵 Web サーバは、以下のブラウザでアクセスできます。

- Internet Explorer 6 から 8 まで (Windows)
- Mozilla Firefox 2 から 3.5 まで

コンピュータ上で内蔵 Web サーバを使用するには、Web ブラウザを開き、プリンタの URL を入力します。プリンタのフロントパネルのステータス画面にプリンタの URL が表示されます (この例では <http://192.168.1.1>)。

Ready
Temp. OK to open window



この手順に従っても内蔵 Web サーバが開けない場合は、『メンテナンスおよびトラブルシューティングガイド』を参照してください。

内蔵 Web サーバの言語を変更する

内蔵 Web サーバは次の言語に対応しています。英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、および日本語。ここでは、Web ブラウザのオプションで指定された言語が使用されます。内蔵 Web サーバが対応していない言語が指定されている場合は、英語が使用されます。

言語を変更するには、Web ブラウザの [言語の優先順位] 設定を変更してください。たとえば、Internet Explorer のバージョン 6 を使用している場合は、[ツール] メニューに移動し、[インターネット オプション] - [言語] を選択します。[言語の優先順位] ダイアログ ボックスで、使用する言語がリストの最上部に表示されていることを確認します。

変更を完了させるには、Web ブラウザを閉じてから再び開きます。

4 素材の取り扱い

概要


ユーザはさまざまな種類の印刷物に印刷できます。これらの印刷物のすべてをこのガイドでは素材と呼びます。


素材を使用する


良好な印刷品質を得るためには、目的に合った適切な素材を選択することが非常に重要です。最適な印刷結果を得るには、HP の推奨素材（詳細は、[17 ページの「サポートされている素材ファミリー」](#)を参照）のみを使用してください。HP の推奨素材は十分な検査を受けて開発され、高い信頼性とパフォーマンスが保証されています。すべてのプリンタ関連製品（プリンタ、インク システム、素材）は、一緒に使用することで高性能を発揮し、最適な印刷品質を実現することができます。

素材の使用方法に関するその他のヒントを以下に示します。

- 素材の種類を問わず、印刷に使用する 24 時間前には、包装を外して、使用する環境に素材を出しておくようにしてください。
- フィルムとフォト素材は、端を持つか綿製の手袋をして取り扱ってください。このような素材には手の油分が付着しやすく、指紋が付く可能性があります。
- 素材の取り付けと取り外しの際は、素材をロールにしっかりと巻き付けておいてください。素材をロールにしっかりと巻き付けるには、ロールをプリンタから取り外す直前に、ロールの先端を芯にテープで止めておいてください。保管中はロールをテープで接着させておくことができます。巻き付け方が緩いと、取り扱いにくくなります。

 **注記：** ロール先端を芯にテープで止めることは、重量のある素材の場合特に重要です。素材自体の硬さによって素材が緩み、芯から外れてしまう可能性があるからです。

- ロール紙を取り付ける際は常に、取り付ける素材ファミリーを指定するようにメッセージがフロントパネルに表示されます。印刷品質を高くするため、適切な用紙の種類を指定する必要があります。素材が、フロントパネルに表示されたファミリーに属していることを確認し、さらに、RIP の素材プロファイルと一致することも確認します。
- イメージに適さない素材を使用すると、印刷品質が低下する可能性があります。
- 適切な印刷品質設定を RIP で選択しているかどうかを確認します。
- フロントパネルに表示される素材ファミリーが、使用する素材ファミリーに対応していない場合、次の操作のいずれかを行います。
 - ロール紙をプリンタに取り付け直し、適切な素材ファミリーを選択します。[26 ページの「ロール紙をプリンタから取り外す」](#)および[20 ページの「ロール紙をプリンタに取り付ける \(自動\)」](#)を参照してください。
 - プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **【取付済の素材の表示】 - [Change loaded substrate]** (取付済の素材を変更) を選択します。

 **注記：** フロントパネルから素材ファミリーを変更した場合、素材送りのキャリブレーションは行われません。

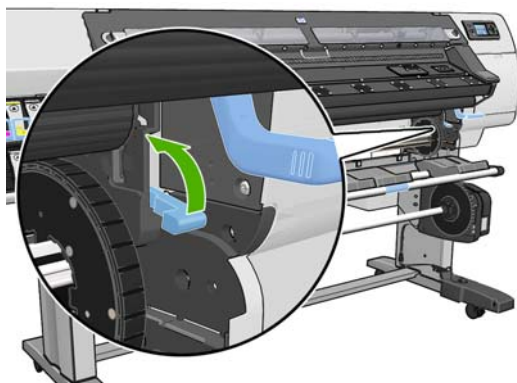
△ **注意：** フロントパネルを使用せずに手で素材をプリンタから取り外すと、プリンタが破損する可能性があります。手で取り外しを行うのは、素材の詰まりを取り除く必要がある場合のみにしてください。

サポートされている素材ファミリー

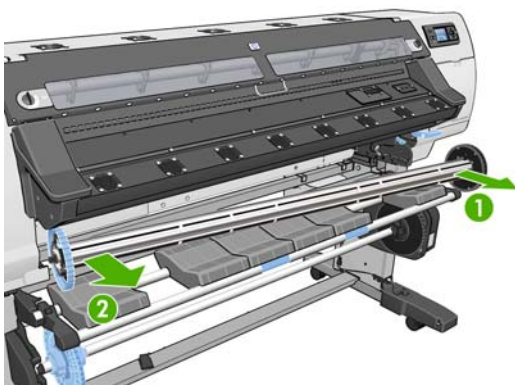
素材ファミリー	素材の種類
粘着紙	粘着ビニール (キャストおよび微光沢)、パーフォレイテッド ビニール
バナー	バナー
フィルム	ポリエステル フィルム
ファブリック	ファブリックおよびキャンバス
メッシュ	メッシュ素材
水性インク用ペーパー	水性インクと互換性のある用紙 (別名オフセット)
溶剤用ペーパー	溶剤系インクと互換性のある用紙。セルコースでコーティング加工されている (別名ビルボード)
低温用 HP フォト調	HP フォト調ポスター紙
合成紙	合成樹脂から作成された素材

ロール紙をスピンドルに取り付ける

1. プリンタのキャスターがロックされ (ブレーキ レバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようにしていることを確認してください。
2. スピンドル ロック レバーを上げて、スピンドルを取り外します。

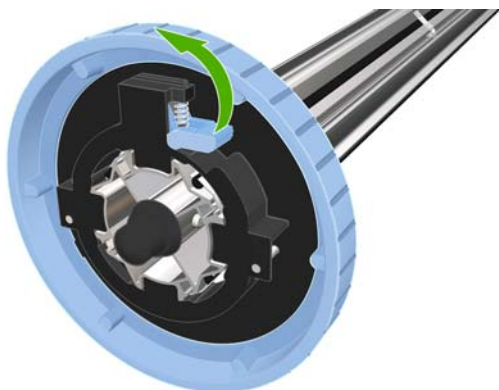


3. まずスピンドルの右端をプリンタから取り外し、次に右に移動させてスピンドルの左端を取り外します。取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないでください。



スピンドルの両端には、ロール紙を正しい位置に固定するストoppaが付いています。左端の青いストoppaを取り外して、新しいロール紙を取り付けます (必要なら、右端のストoppaも取り外せます)。ストoppaはスピンドルに沿ってスライドし、異なる幅のロール紙が固定されます。

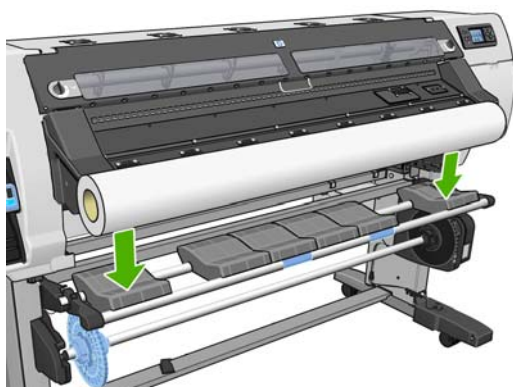
4. 青いストoppaのロック レバーをロック解除の位置までスライドさせます。



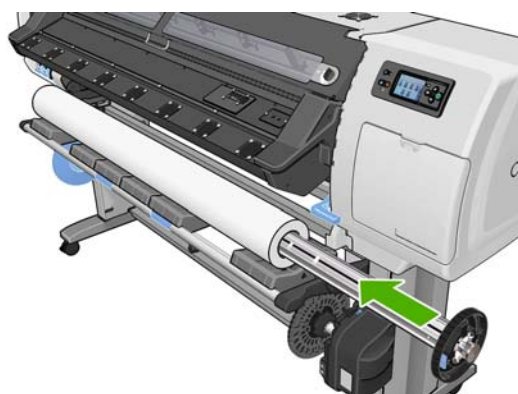
5. スピンドルの左端からストoppaを取り外します。



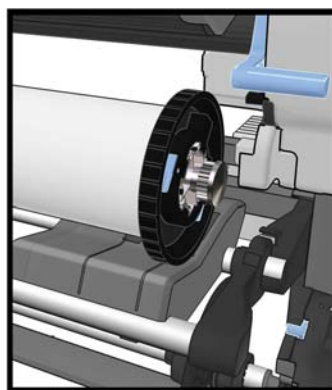
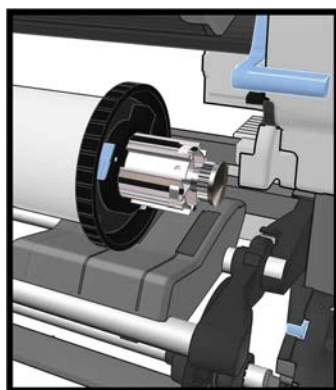
6. 取り付ける素材のロールを取り付けテーブルに置きます。ロール紙が長くて重い場合は、取り扱いに2人必要になることがあります。



7. スピンドルをロール紙に取り付けます。

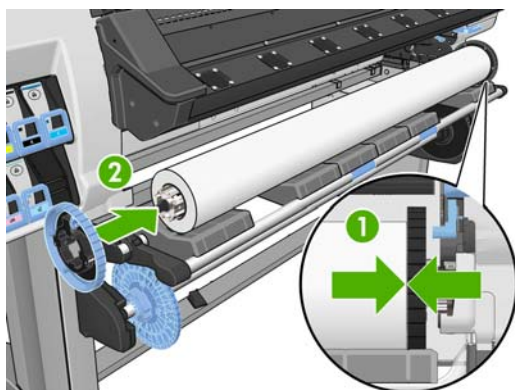


8. スピンドルの右ストップには位置が2つあります。1つ目の位置は、プリンタの最大幅のロール用、2つ目の位置は、幅の狭いロール用です。

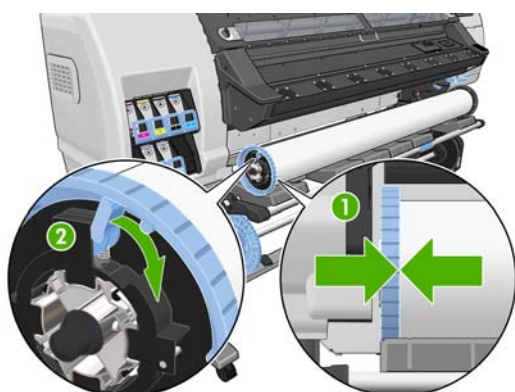


9. スピンドルの上端に青いストッパを取り付け、ロール紙の端に向けて押し込みます。

※ **ヒント：** 素材の厚紙の芯が素材よりも長い場合は、青いストッパを取り付けずにメディアを取り付けることができます。ただし、テーブルの取り付け/取り外しは青いストッパを適切な位置に置いて使用するよう設計されているので、メディアを取り外す際には注意が必要です。



10. ロック レバーをロックの位置までスライドさせます。



11. 取り付けテーブルを上げると、スピンドルをプリンタに簡単に取り付けることができます。


△ **注意：** 指を挟む危険がありますので、両手でロール紙を押し込まないでください。




さまざまな素材を日常的に使用する場合は、異なる素材のロールをあらかじめ取り付けしたスピンドルを複数準備しておくと、ロール紙の交換をすばやく行うことができます。追加のスピンドルは別途購入できます。

ロール紙をプリンタに取り付ける (自動)

この手順を始める前に、ロール紙をスピンドルに取り付けておく必要があります。[17 ページの「ロール紙をスピンドルに取り付ける」](#)を参照してください。

素材の通常の最小幅は、23 インチ (584mm) です。素材を最小幅 10 インチ (254mm) に狭めて取り付けるには、フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[素材取り扱いオプション] - [Enable narrow substrate]** (狭い素材の有効化) を選択します。このオプションを使用した場合、印刷品質は保証されません。テキスタイル素材のロール紙を取り付ける場合は、[37 ページの「テキスタイル タイプのメディアを取り付ける」](#)を参照してください。

1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [素材の取り付け] - [ロールの取り付け] を選択します。

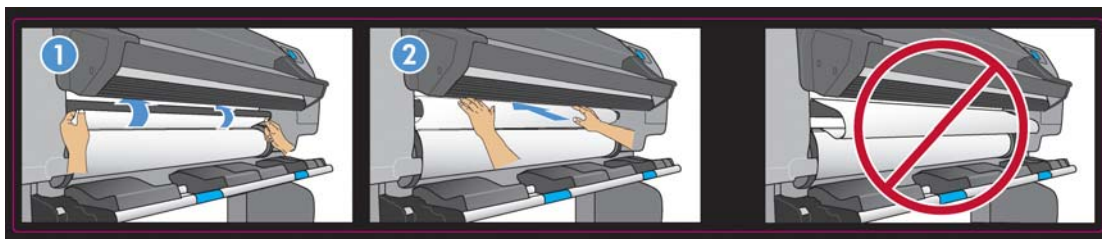
Substrate load

▶ Load roll

▶ Learn how to load spindle

代わりに、プリンタが用紙を検出するまで、用紙をプリンタに給紙する方法もあります。フロントパネルに示される以下の手順に従います。

2. 素材の先端を、黒いリブ状のローラーの上に慎重に挿入します。素材に張りがあることを処理中に確認しながら行います。素材をロールから引っ張りすぎないように注意してください。引っ張りすぎるとスキューが生じる可能性があります。さらに、素材を手で巻き直すこともしないでください。ただし、プリンタから手で巻き直すように指示が出た場合はそれに従ってください。



△ **警告！** 素材を取り付ける作業中、プラテンのゴムのホイールに触れないようにしてください。ホイールが回転して皮膚や髪、衣服を巻き込むおそれがあります。

警告！ プリンタの素材経路に指を入れないように注意してください。

プリンタが素材の先端を検出し確認すると、プリンタのブザーが鳴ります。

3. 取り付けるロールの素材カテゴリを選択します。

Select substrate category

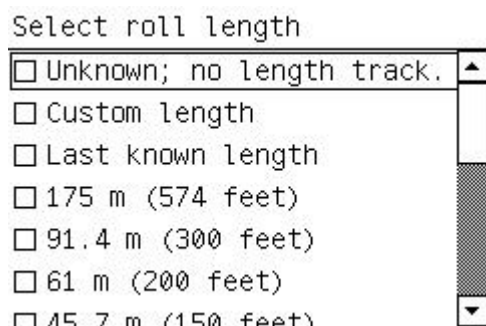
<input type="checkbox"/> Self-Adhesive	▲ ▼
<input type="checkbox"/> Banner	
<input type="checkbox"/> Film	
<input type="checkbox"/> Fabric	
<input type="checkbox"/> Mesh	
<input checked="" type="checkbox"/> Paper-Aqueous	
<input type="checkbox"/> Paper-Solvent	

📖 **注記：** 特定の素材の名前を選択する必要があります。特定の素材は、フロントパネルではなく、RIP で使用しているものです。



注記： RIP の素材設定によって、フロントパネルの設定が上書きされます。

💡 **ヒント：** 極薄素材または極厚素材を取り付ける場合は、手動の取り付け手順に従って、素材の詰まりやプリントヘッドのつぶれの危険を避ける必要があります [23 ページの「ロール紙をプリンタに取り付ける \(手動\)」](#)。

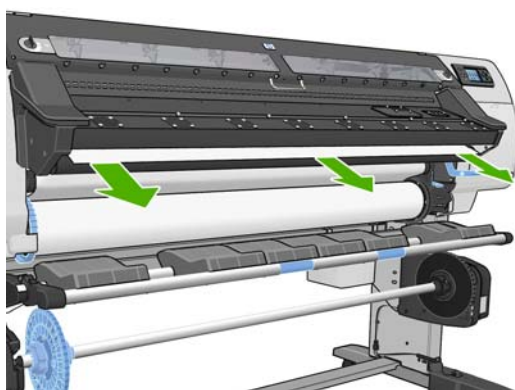
4. 取り付けるメディアのロール紙が新しい場合は、フロントパネルでそのロール紙の長さを選択します。メディアが以前に使用されたことがあり、トラッキング機能を使用していた場合は、残っているメディアを選択します。メディアの長さのトラッキング機能については、[39 ページの「メディアの長さのトラッキング機能」](#)を参照してください。




5. プリンタは、さまざまな方法で素材を確認し、スキューやテンションの問題を修正するようにメッセージを表示する場合があります。

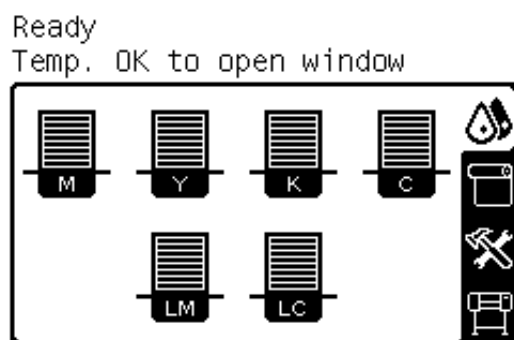
 **注記：** 最大許容量のスキューを以下のようにフロントパネルで指定できます。 アイコンを選択し、次に **[素材取り扱いオプション] - [Max skew setting]** (最大スキューの設定) を選択します。

6. そのまましばらくすると、素材が下の図のようにプリンタから出てきます。

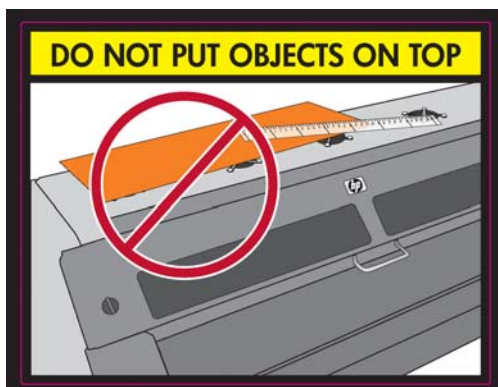


 **注記：** 素材の取り付けのいずれかの段階で予想外の問題が発生した場合は、『メンテナンスおよびトラブルシューティング ガイド』を参照してください。

7. プリンタは素材送りのキャリブレーションを行います。
8. 透明な素材（不透明なフチのない）を取り付けている場合は、素材の幅とプリンタの側面プレートから右端までの距離（硬化モジュールの前面にあるルーラーが示す）を入力するように要求されます。
9. プリンタは、印刷可能であることを示します。



ファンを覆わないように注意してください。





巻き取りリールの使用方法については、[27 ページの「巻き取りリールを使用する」](#)を参照してください。

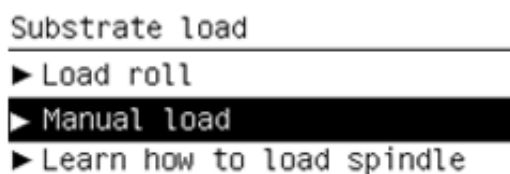
ロール紙をプリンタに取り付ける (手動)

使用しているメディアが標準よりも薄いか厚い場合は、手動取り付けプロセスを使用する必要があります。さらに、メディアが過剰にカールしているか、メディアの印刷面が外向きである場合もこのプロセスを使用できます。使用しているメディアが標準タイプでその状態が良好であれば、前に説明した自動取り付けプロセスを使用してください。[20 ページの「ロール紙をプリンタに取り付ける \(自動\)」](#)を参照してください。

この手順を始める前に、ロール紙をスピンドルに取り付けておく必要があります。[17 ページの「ロール紙をスピンドルに取り付ける」](#)を参照してください。

素材の通常の最小幅は、23 インチ (584mm)です。素材を最小幅 10 インチ (254mm) に狭めて取り付けるには、フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[素材取り扱いオプション]** - **[Enable narrow substrate]** (狭い素材の有効化) を選択します。このオプションを使用した場合、印刷品質は保証されません。テキスタイル素材のロール紙を取り付ける場合は、[37 ページの「テキスタイル タイプのメディアを取り付ける」](#)を参照してください。

1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[素材の取り付け]** - **[Manual load]** (手動取り付け) を選択します。

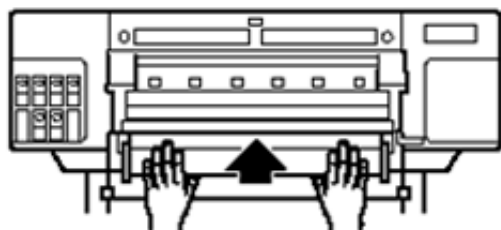


2. 素材調整レバーを上がるところまで持ち上げます。

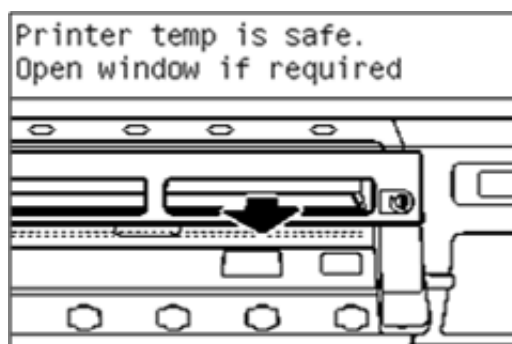


3. 素材の先端を、黒いリブ状のローラーの上に慎重に挿入します。素材に張りがあることを処理中に確認しながら行います。素材をロールから引っ張りすぎないように注意してください。引っ張りすぎるとスキューが生じる可能性があります。さらに、素材を手で巻き直すこともしないでください。ただし、プリンタから手で巻き直すように指示が出た場合はそれに従ってください。フロントパネルに次の指示が表示されます。

Feed substrate through the roller



4. メディアが印刷プラテンに届くまで送り込んでください。プリンタの温度が下がっている場合は、ウィンドウを開けると、メディアの引き出しが楽になります。フロントパネルに次の指示が表示されます。

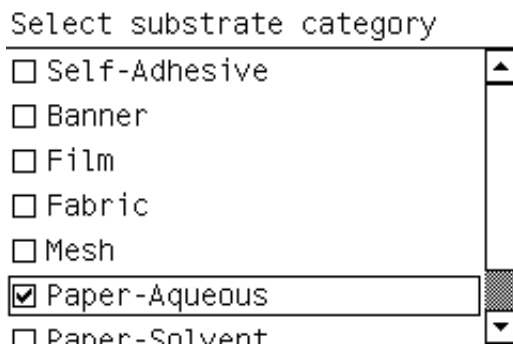


※ **ヒント：** 使用しているメディアが過剰にカールしている場合は、メディアの端がプリンタの外に出るまでメディアを送り込みます。

5. 素材調整レバーを下がるまで引き下げます。



6. 取り付けるロールの素材カテゴリを選択します。



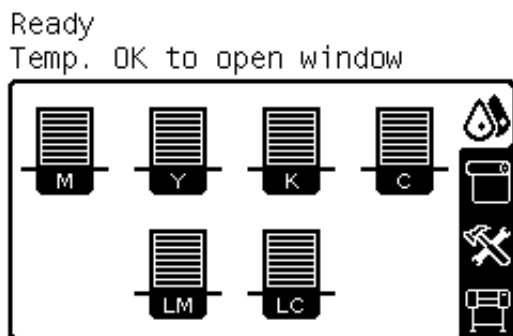
注記： 特定の素材の名前を選択する必要があります。特定の素材は、フロントパネルではなく、RIP で使用しているものです。

ヒント： 極薄素材を取り付ける際には、常に素材カテゴリに **【バナー】** を選択して、取り付け中に加えられるバキュームのプレッシャを最小限に抑えます。極厚素材を取り付ける際には、常に素材カテゴリに **【HP フォト調】** を指定して、バキュームのプレッシャを最大限に発揮します。取り付けを終了したら、印刷する前にフロントパネルに移動して、以下のように取り付ける素材を適切なカテゴリに変更します。 アイコンを選択し、次に **【取付済の素材の表示】** - **【Change loaded substrate】** (取付済の素材を変更) を選択します。

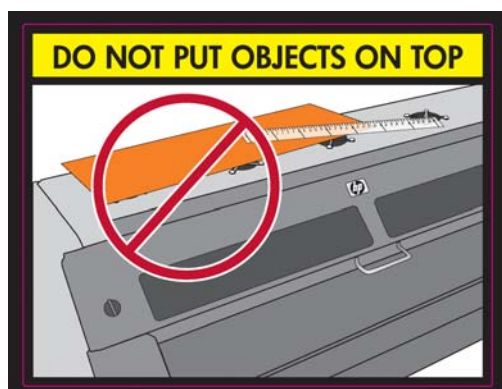
7. プリンタは、さまざまな方法で素材を確認し、スキューやテンションの問題を修正するようにメッセージを表示する場合があります。

注記： 最大許容量のスキューを以下のようにフロントパネルで指定できます。 アイコンを選択し、次に **【素材取り扱いオプション】** - **【Max skew setting】** (最大スキューの設定) を選択します。

8. プリンタは素材送りのキャリブレーションを行います。
9. 透明な素材 (不透明なフチのない) を取り付けている場合は、素材の幅とプリンタの側面プレートから右端までの距離 (硬化モジュールの前面にあるルーラーが示す) を入力するように要求されます。
10. プリンタは、印刷可能であることを示します。



ファンを覆わないように注意してください。




ロール紙をプリンタから取り外す

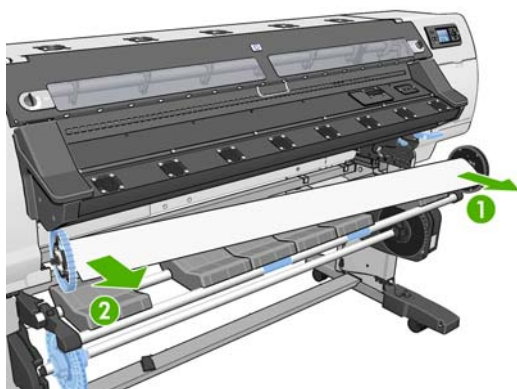
巻き取りリールを印刷中に使用した場合、印刷されたロール紙を巻き取りリールから取り外してから、ロールをプリンタから取り外してください。35 ページの「ロール紙を巻き取りリールから取り外す」を参照してください。

ロール紙のもう一方の端がインプット スピンドルに残っているかどうかを確認し、以下のセクションに記載されている手順に従います。

通常の手順 (ロール紙がスピンドルに残っている場合)

ロール紙がスピンドルに残っている場合は、以下の手順に従います。

1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [素材の取り外し] - [ロールの取り外し] を選択します。
2. 素材の巻き戻しに必要な数だけ、フロントパネルの **OK** ボタンを押します。
3. スピンドル ロック レバーを上げる
4. ロール紙の右端を最初に引き出して、プリンタから取り外します。取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないでください。

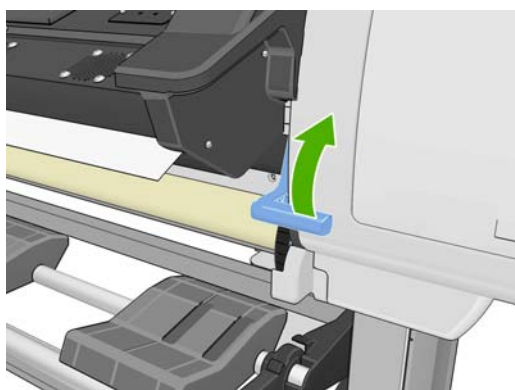


例外的な手順 (ロール紙がスピンドルから外れている場合)

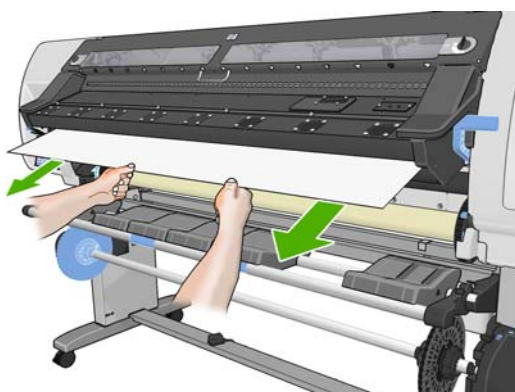
ロール紙の端は見えるが、スピンドルから外れてしまっている場合は、以下の手順に従います。

1. フロントパネルで [素材の取り外し] を選択した場合は、**キャンセル** ボタンを押して、操作をキャンセルします。


2. 素材調整レバーを上げます。フロントパネルにレバーに関する警告が表示された場合は、無視してください。




3. プリンタ前面から素材を引き出します。



4. ロール紙の右端を最初に引き出して、空のスピンダルをプリンタから取り外します。取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないでください。
5. 素材調整レバーを下げます。
6. フロントパネルに警告メッセージが表示された場合は、OK ボタンを押してメッセージを消します。


 **注記：** ロール紙の端がプリンタの外に出ていない場合は、フロントパネルで **素材を移動** ボタンを使用して素材を前に移動します。

巻き取りリールを使用する


巻き取りリールは、フロントパネルで有効にして操作する必要があります。巻き取りリールが有効になると、「巻き取りリールは有効です」というメッセージがフロントパネルの【用紙】タブに表示されます。巻き取りリールが有効になっていない場合、有効にするには、 アイコンを選択し、次に【巻き取りリール】 - 【巻き取りリールの有効化】を選択します。

ロール紙を巻き取りリール スピンドルの芯にテーピングする際は、以下の説明に従ってください。

- 素材がスピンドルの芯に真っすぐに取り付けられていることを確認してください。真っすぐに取り付けられていない場合、用紙が芯に巻き取られる際に歪みます。
- 巻き取りリールのスピンドルの芯の幅は、印刷する素材（プリンタに取り付けられている素材のロール）と同じ幅にする必要があります。
- スピンドルの芯の両端にエンド キャップが取り付けられていないこと、およびスピンドルの芯が両方のスピンドル ガイドにしっかりとめ込まれていることを確認します。

 **注記：** 印刷中に巻き取りリールを取り付ける場合、あらかじめ処理手順に慣れておいてください。巻き取りリールを印刷中に取り付ける場合、プリンタが素材を給紙および印刷している間に処理を完了させる必要があります。印刷中に巻き取りリールを取り付けると、約 1m (3 フィート) 素材を節約できます。

ロール紙を巻き取りリールに取り付ける

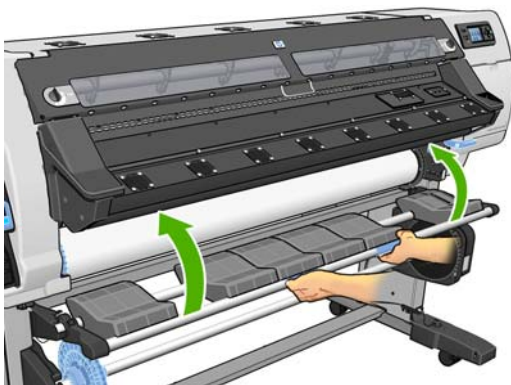
1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [素材の取り付け] - [巻き取りリールの取り付け] を選択します。
2. 巻き取りリールを今すぐ取り付ける場合は、フロントパネルで [今すぐリールに取り付ける] を選択します。巻き取りリールを印刷中に取り付ける場合は、フロントパネルで [印刷中リールに取り付ける] を選択します。

Would you like to load paper
onto take-up reel now or
save paper and load it later
during printing?

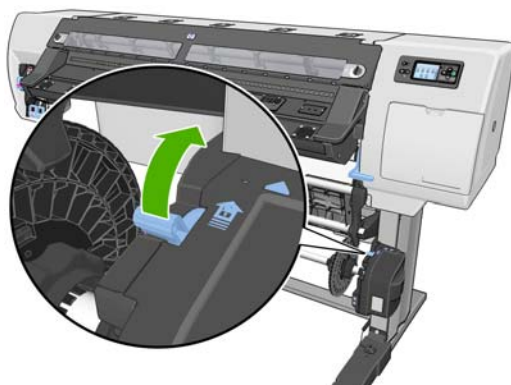
☐ Load take-up reel now
☐ Load it during printing

 **注記：** スキューが 3mm/m を超えている場合は、スキップ チェックは使用しないでください。

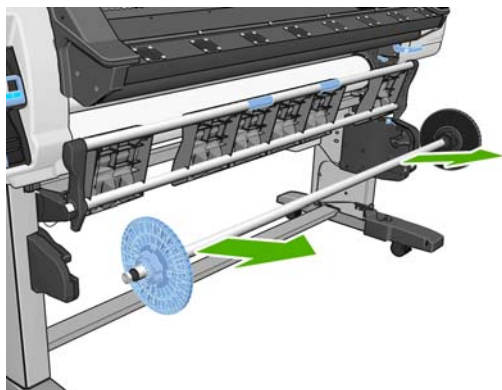
3. 取り付けテーブルが垂直に立っていることを確認します。



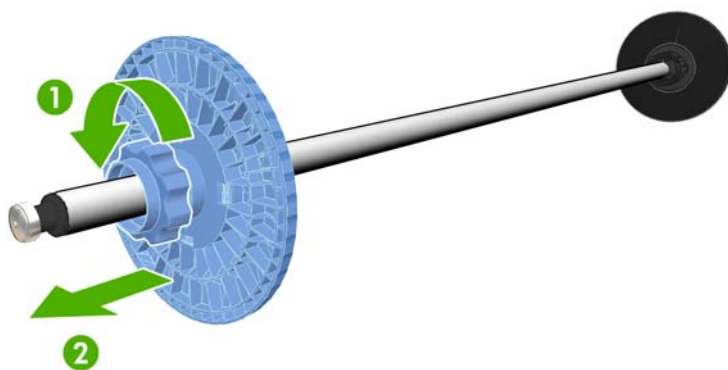
4. スピンドル レバーを最上部の位置まで押して、巻き取りリール スピンドルのロックを解除します。



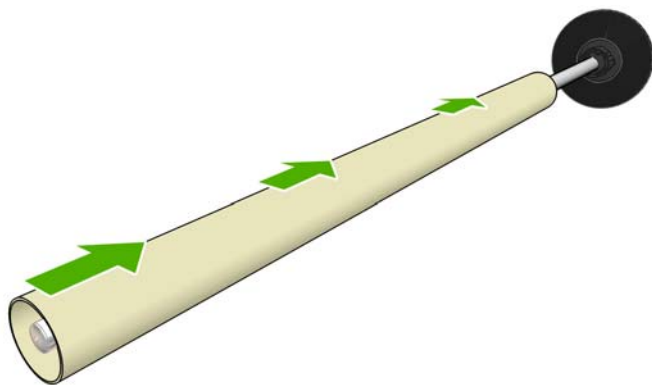
5. 巻き取りリールスピンドルを取り外します。



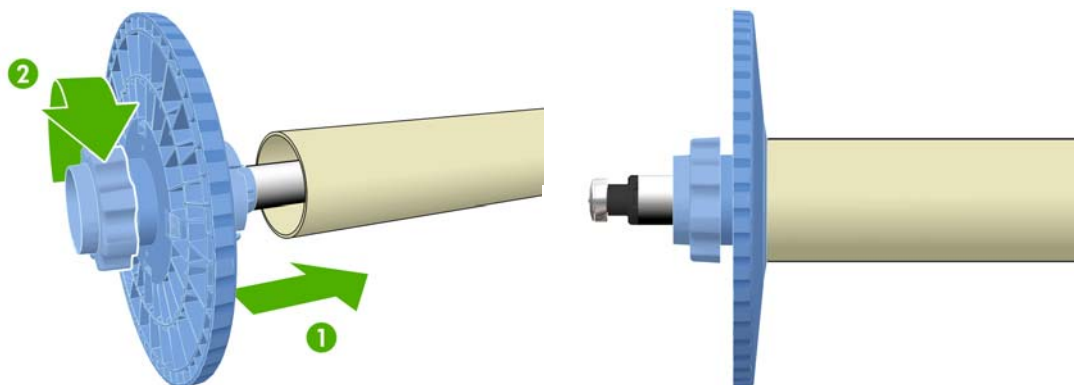
6. スピンドルから青いストッパを取り外します。



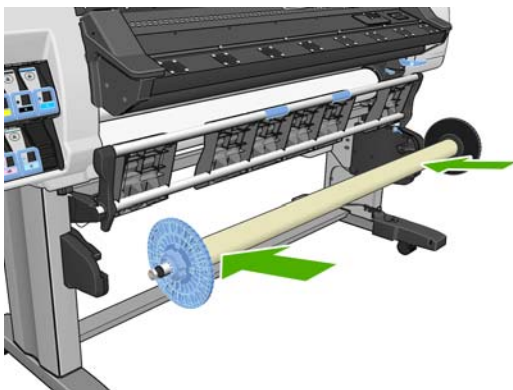
7. スピンドルの芯を巻き取りリール スピンドルに取り付けます。



8. スピンドルに青いストッパを取り付けます。



9. 巻き取りリール スピンドルの両端をしっかりと押してプリンタに取り付けます。



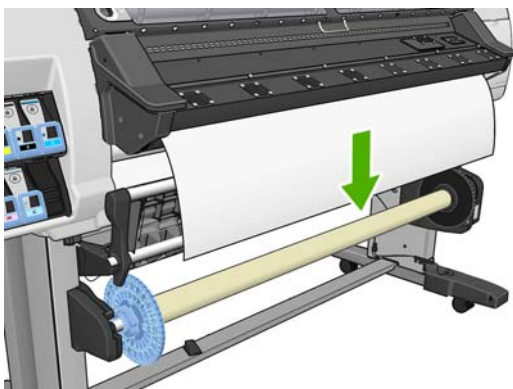
10. フロントパネルの [OK] ボタンを押して、巻き取り方向を選択します。

Select the printed roll
winding direction

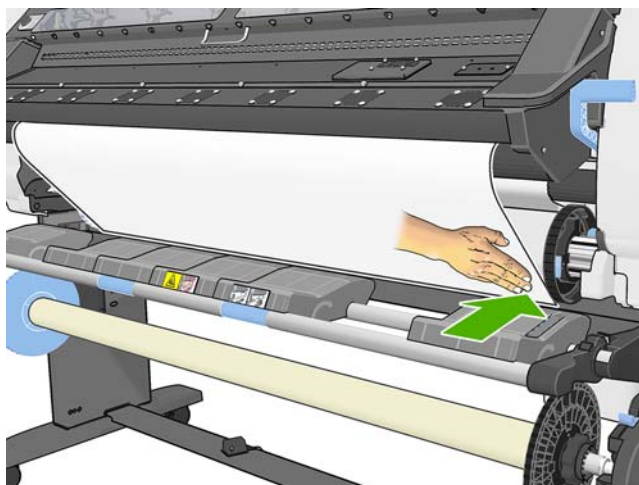
☐ Printed face outwards

☐ Printed face inwards

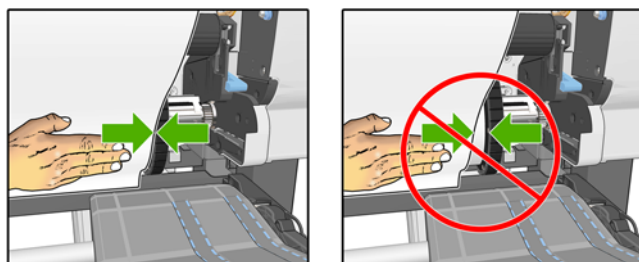
プリンタから素材が排出されます。以下に示すように、素材が取り付けテーブルの前を通過することを確認します。



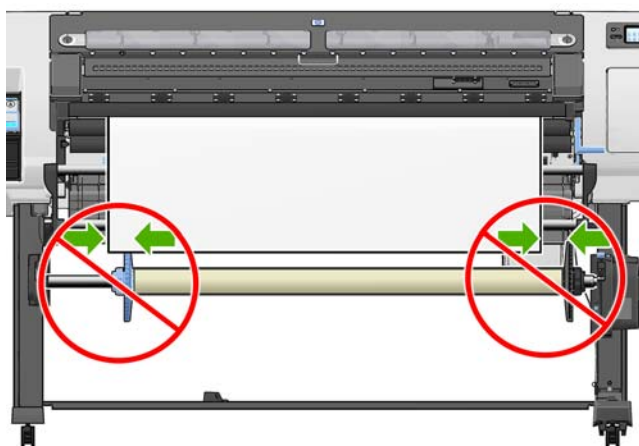
11. メディアが青いストップと右側のスピンドル ハブに正しく揃うように、メディアを巻き取りリールに正しく取り付けることは、印刷の実行が長い場合には特に重要です。メディアが青いストップと右側のスピンドル ハブとの間の中心に垂れ下がっていることを確認します。



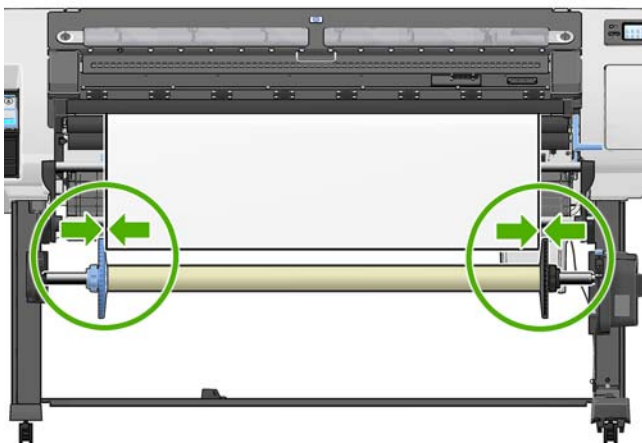
12. 素材の右端が右側のスピンドル ハブに揃っており、緑色の2つの矢印が示す箇所に隙間がないことを確認します。




13. 位置が揃っていない場合は、青いストップと右側のスピンドル ハブを緩めて、メディアの両端に揃えます。使用している芯の幅がメディアよりも広い場合は、両端の隙間が均等になるように芯の中心をメディアの中心に揃えます。

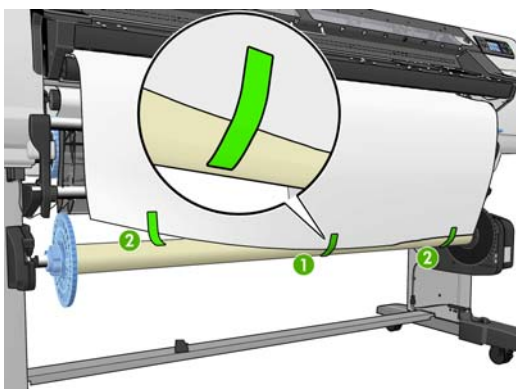



14. メディアを青いストッパと右側のスピンドル ハブに正しく揃えたら、両端の位置をロックします。以下に示すのは、メディアの両端を青いストッパと右側のスピンドル ハブに正しく揃えた状態です。



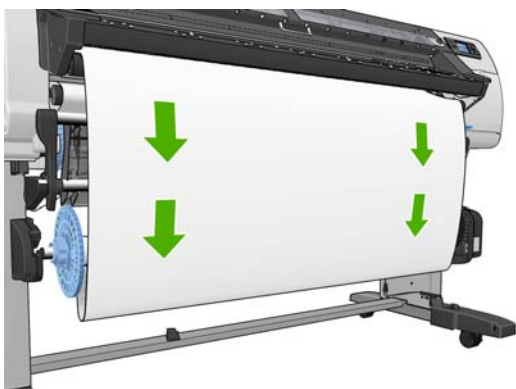
15. ピンと張った状態で、次の図の位置まで素材を引き出します。プリンタから余分の素材を *引き出さない* てください。テープを使用して素材をスピンドルの芯に固定します。最初は芯の中央をテープで固定します。下の図に示されているよりも多くの粘着テープを使用する場合があります。素材をしっかりと固定して、管状の芯（後続の手順で取り付けます）が張りに耐えられる必要があります。

 **注記：** 印刷中に巻き取りリールを取り付ける場合、ピンと張った状態で素材を引き出す必要はありません。印刷開始後に必要な長さで素材がプリンタから排出されたら、素材をスピンドルの芯にテープで止めます。




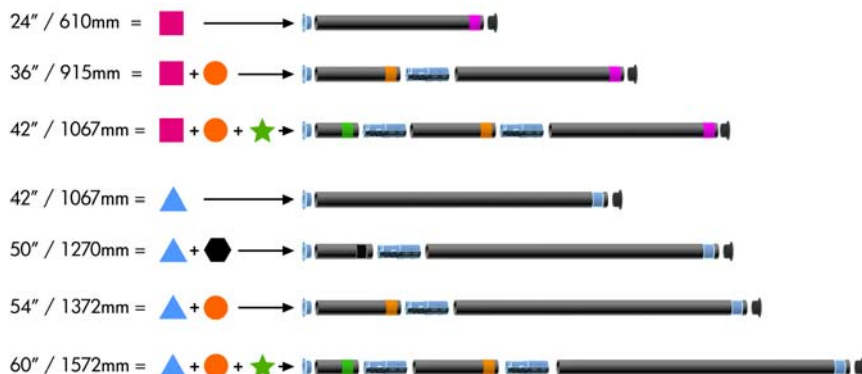
 **注記：** 素材がスピンドルの芯に巻き取られる際にスキューの発生を避けるために、素材が、真っすぐに取り付けられていることおよびインプット ロールに合っていることを確認します。素材を合わせるには、芯の溝を使用すると便利な場合があります。

16. フロントパネルの **OK** ボタンを押します。プリンタから素材が排出されます。

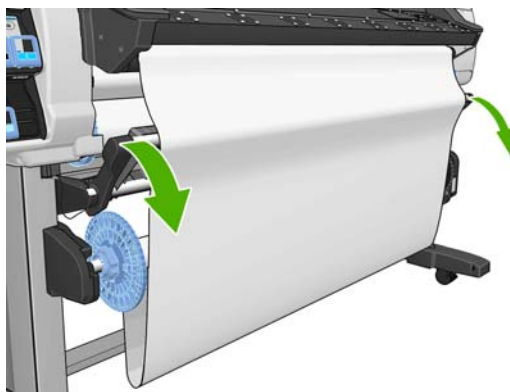


17. 形および色のラベルの付いたプラスチック管を組み合わせ、管状の芯を取り付けます。管状の芯の幅は、使用する素材と同じ幅にする必要があります。両方のエンド キャップが管状の芯の両端にしっかりと取り付けられていることを確認します。

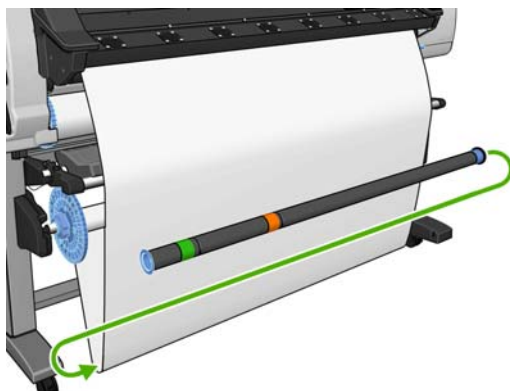
 **注記：** フロントパネル画面には、プリンタにセットしたロール紙の長さに基づき、管状の芯の必要な長さが表示されます。




18. 取り付けテーブルをゆっくりと下げると、しわが避けられるため巻き取りが改善します。



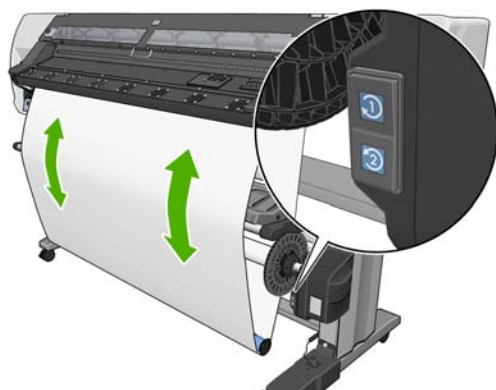
19. 管状の芯を静かに注意して挿入します。



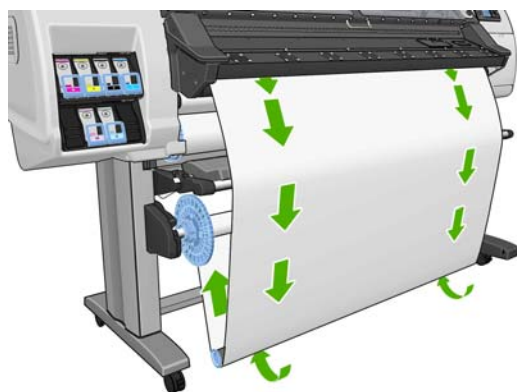
 **注記：** 必ず管状の芯を取り付けてください。管状の芯を取り付けないと、巻き取りリールが正常に機能しません。管状の芯にはエンド キャップが必要です。エンド キャップが取り付けられ、素材の両端に達していることを確認します。


20. 巻き取りリール モーターの巻き取り方向スイッチを使用して、巻き取り方向を選択します。1 に設定すると、印刷するイメージが上向きになるように素材を巻き取ります。2 に設定すると、印刷するイメージが下向きになるように素材を巻き取ります。

手順 7 で設定した巻き取り方向に基づいて設定を修正するよう、フロントパネルに表示されます。



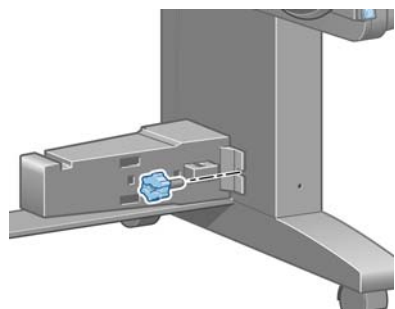
21. フロントパネルの OK ボタンを押します。「巻き取りリールが正しく取り付けられました」というメッセージが表示されます。
22. 下の図に、印刷時のプリンタの様子を示します。プリンタから排紙された素材が、ループ状になって垂れ下がってから巻き取りリールに巻き付いています。




 **注記：** 巻き取りリールが動作している場合は、巻き取りリール センサーが遮られていないことを確認してください。

注記： 巻き取りリールを使用すると、カッターはオフになります。

注記： プリンタを移動させたい場合、最初に巻き取りリール センサーとケーブル格納ユニットをプリンタ スタンド下部から取り外します。センサーとケーブル格納ユニットをプリンタ スタンドのクロスバーに合わせて配置し、図に示すように、プリンタの移動中に、青いプラスチック ネジを使用して格納ユニットをスタンドの脚部に固定します。格納ユニットを再度取り付ける場合、プリンタ スタンドの脚部のキャスターが前を向くようにしてください。

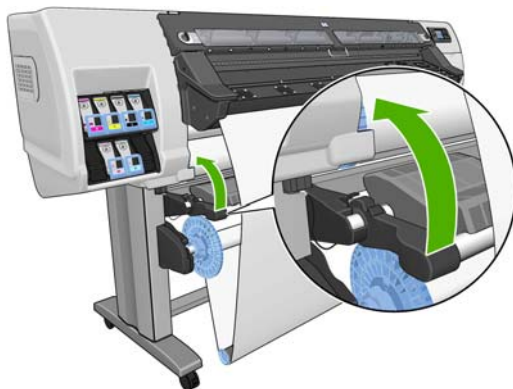


ロール紙を巻き取りリールから取り外す

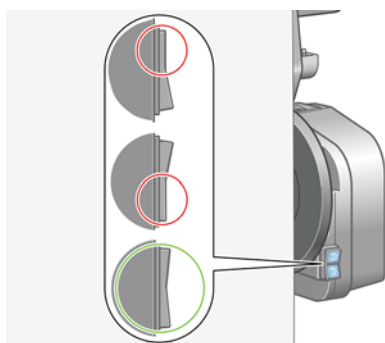
1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[素材の取り外し]** - **[ロールの取り外し]** を選択します。

素材がプリンタから排出され、カットが可能になります。

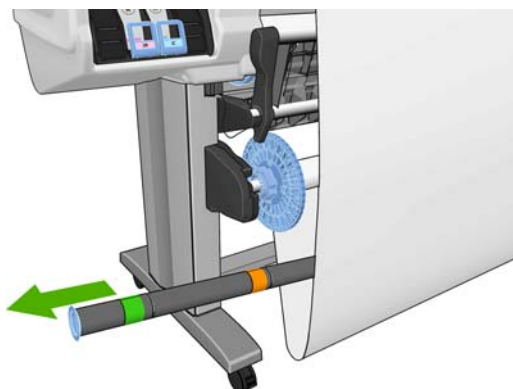
2. 取り付けテーブルを垂直に立つように上げます。



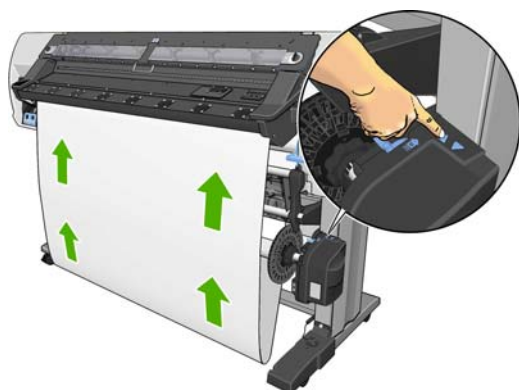
3. 巻き取り方向スイッチを **[オフ]** の位置にします。スイッチは中央が **[オフ]** の位置です (つまり、スイッチが 1 および 2 のどちらの位置にもない状態)。



4. 管状の芯を取り外します。

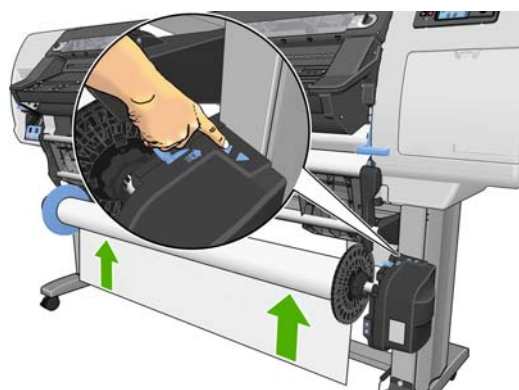


5. 巻き取りリール モーターの巻き取りボタンを押して、巻き取りリール スピンドルの余分な素材を巻き取ります。



6. フロントパネルの OK ボタンを押します。

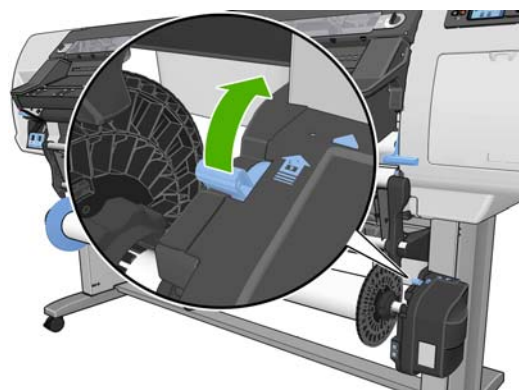
7. 巻き取りリール モーターの巻き取りボタンを押して、巻き取りリール スピンドルの余分な素材を巻き取ります。



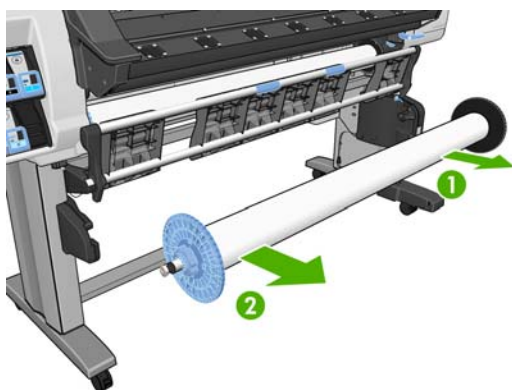
8. フロントパネルの OK ボタンを押します。

巻き取りリール スピンドルにある印刷済み素材の量がフロントパネルに表示されます。

9. スピンドル レバーを最上部の位置まで押して、巻き取りリール スピンドルのロックを解除します。



10. ロール紙の右端を最初に引き出して、プリンタから取り外します。取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないでください。

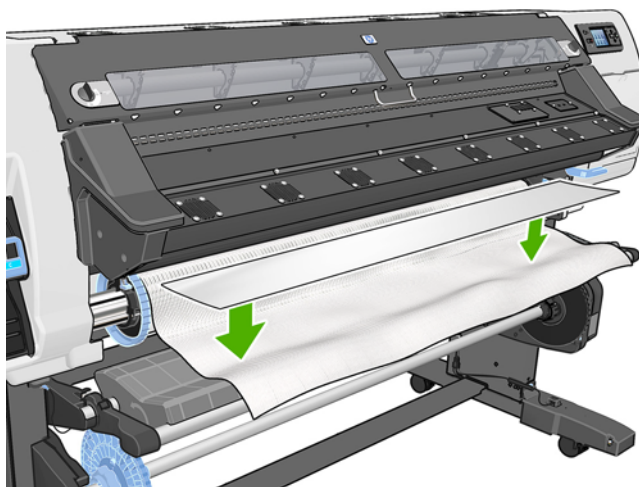


11. 巻き取りリールを取り外した後にプリンタからロール紙を取り外す場合は、[26 ページの「ロール紙をプリンタから取り外す」](#)を参照してください。

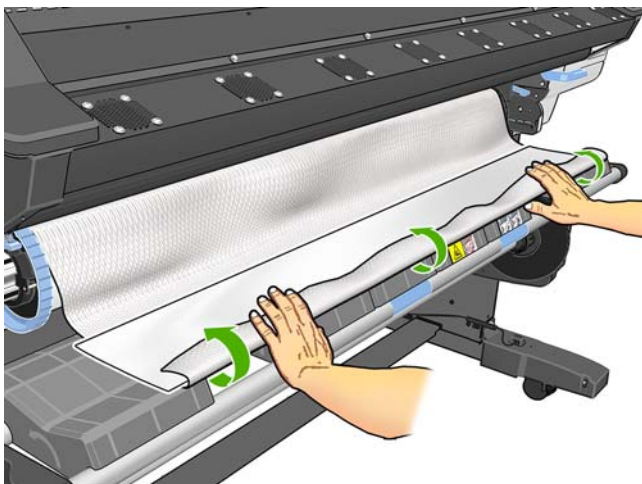
テキスタイル タイプのメディアを取り付ける

以下の手順は、1 枚の別のメディアを裏当てに使用して、テキスタイル タイプのメディアをプリンタに取り付ける方法を示します。

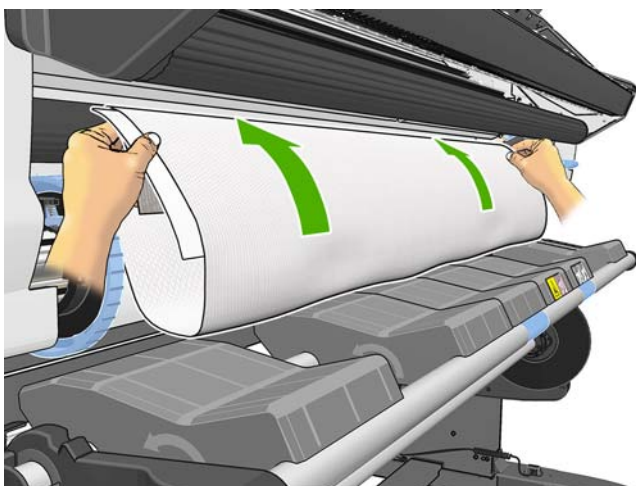
1. テキスタイル メディアとほぼ同じ幅で長さが約 500mm の 1 枚の別のメディアを選びます。材質が硬いので、ポリエステル素材 (バックライト) のメディアが、幅の広いテキスタイル メディアの裏当てに最適です。



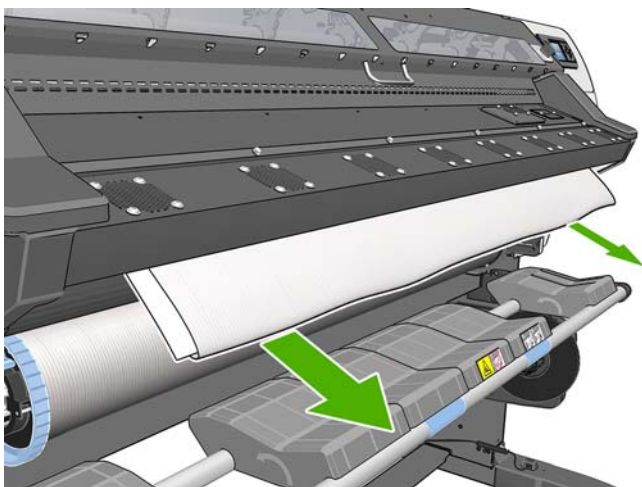
2. 取り付けるテキスタイル素材の先端部に裏当てのメディアを置きます。



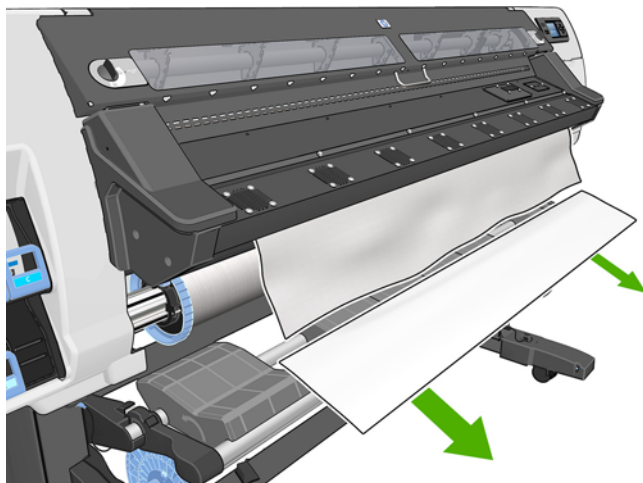
3. メディアを標準で取り付けます。詳細については、[20 ページの「ロール紙をプリンタに取り付ける \(自動\)」](#)を参照してください。




4. 裏当てのメディアがテキスタイル メディアと共にプリンタの用紙経路を通過し、反対側に現れます。



5. 取り付けられたテキスタイル メディアの上に裏当てのメディアが残りますが、取り付けプロセスの最中に床に落ちます。床に落ちていなければ、手で取り除きます。メディアの取り付けを標準のままで行き、必要に応じてスキューを調整します。



素材に関する情報を表示する

プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [取付済の素材の表示] - [素材の詳細を表示] を選択します。

フロントパネルに、以下の情報が表示されます。

- ロール紙のステータス
- 選択した素材ファミリ
- 素材の幅 (mm) (プリンタによる推定値)

素材が取り付けられていない場合は、**素材がありません** というメッセージが表示されます。

同じ情報が内蔵 Web サーバの [サプライ品] ページにも表示されます。

メディアの長さのトラッキング機能

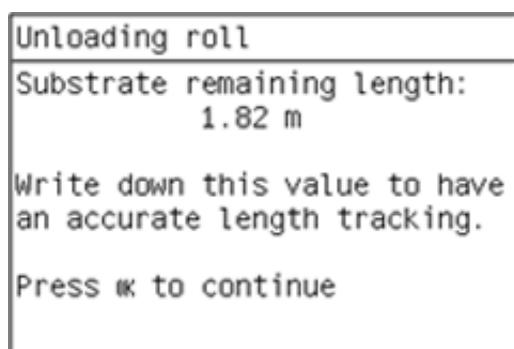
メディアの長さのトラッキング機能を使用すると、使用したメディア量とロール紙の残量を記録できます。

1. プリンタにロール紙を最初に取り付けるとき、オプションでロール紙のメディアの長さを入力できます。引き続き使用されるメディア量が追跡されて記録されます。

Select roll length

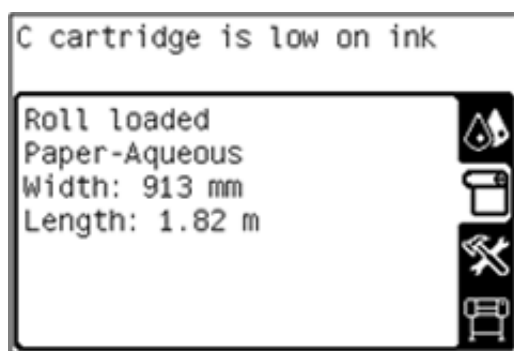
<input type="checkbox"/> Unknown; no length track.	▲
<input type="checkbox"/> Custom length	
<input type="checkbox"/> Last known length	
<input type="checkbox"/> 175 m (574 feet)	
<input type="checkbox"/> 91.4 m (300 feet)	
<input type="checkbox"/> 61 m (200 feet)	
<input type="checkbox"/> 15.2 m (50 feet)	▼

2. メディアを取り外すとき、今後の使用で参考にできるよう、フロントパネルに残量が表示されます。




3. 次回にメディアを取り付けるとき、残りの長さを入力すると、プリンタは、メディアの使用と同時にメディアを再度追跡して記録します。紙詰まりが発生してメディアを取り外し、プリンタをオフにしてからオンにした場合など、メディアが実際に取り外されていなかった場合、[最後に認識した長さ] を選択すると、(トラッキング機能が有効だった場合) プリンタは紙詰まりが発生した時点の値を適用します。

メディアの残りの長さは常にフロントパネルの素材領域に表示されます。RIP にトラッキング機能があると、この情報は RIP でも表示されます。



長さのトラッキング機能を有効/無効にする

1. 長さのトラッキング機能をフロントパネルから有効または無効にできます。プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [素材取り扱いオプション] - [素材の長さのトラッキング] を選択します。
2. オンまたはオフを選択します。

素材を保管する

素材を保管する際のヒントは次の通りです。

- 用紙の変色を防ぐため、未使用のロール紙はプラスチックの包装に包んでおくようにしてください。ロール紙が部分的に使用済みで、未使用部分がある場合は、使用済みの部分を包んでおいてください。
- ロール紙は積み重ねないでください。
- 素材の種類に関わらず、印刷に使用する 24 時間前には包装を解いて、使用する環境に素材を慣らすようにしてください。

- フィルムと光沢素材は、端を持つ綿製の手袋をして取り扱ってください。このような素材には手の油分が付着しやすく、指紋が付く可能性があります。
- 素材の取り付けと取り外しの際は、素材をロールにしっかりと巻き付けておいてください。巻き付け方が緩いと、取り扱いにくくなります。

メディア プリセットをダウンロードする

サポートされている素材の種類にはそれぞれ独自の特性があるため、素材の種類によってプリンタの印刷方法が変更されます。素材の種類ごとに必要な設定の詳細を RIP に伝える必要があります。この詳細のことを「メディア プリセット」といいます。

メディア プリセットには、素材の色の特徴を記述する ICC カラー プロファイルが含まれます。また、色とは直接関連がない素材の特徴 (RIP 設定とプリンタ設定) および要件も含まれています。プリンタのメディア プリセットは RIP にインストールされています。

RIP には、一般的に最もよく使用される素材の種類にのみメディア プリセットが含まれています。RIP にプリセットが含まれていない素材の種類を購入した場合は、新しい素材の種類のプリセットを以下の方法で入手できます。

- 素材製造元の Web サイトからメディア プリセットをダウンロードする。
- そこになれば、RIP 企業の Web サイトから素材プリセットをダウンロードする。
- そこになれば、www.hp.com/go/L25500/solutions に置かれた「Media Finder」検索アプリケーションを使用して、入手可能かどうかを確認する。
- いずれのサイトにも見つからなければ、新しいメディア プリセットを RIP で作成する。[41 ページの「新しい素材の種類を追加する」](#)を参照してください。

新しい素材の種類を追加する

このセクションは、独自のメディア プリセットを作成する場合に役立ちます。使用するすべての素材に対して既存のプリセットが見つければ、新しいプリセットを作成する必要はありません。

概要

1. [42 ページの「プリンタ設定とカラー プロファイルを選択する」](#)の表を参照して、一般的な素材ファミリを選択します。
2. RIP でコピーを作成するか、選択した素材ファミリから利用可能なメディア プリセットを使用します。
3. コピーを作成する場合は、新しいメディアの名前を選択します。
4. 新しい素材をプリンタに取り付けます。
5. メディアがプリンタの幅よりも小さい場合は、メディアをスピンドルの左端の位置に置いて、メディアが印刷領域の中心にくるようにする方が適切です。
6. プリンタのフロントパネルで、[42 ページの「プリンタ設定とカラー プロファイルを選択する」](#)の表から、開始する一般的な素材ファミリを選択します。
7. 素材が透明か暗い場合、または取り付け処理中にプリンタから無効にするように要求された場合、RIP ソフトウェアで素材送りセンサー (OMAS) を無効にします。
8. プリントヘッドの軸合わせを行います。『メンテナンスおよびトラブルシューティング ガイド』を参照してください。
9. RIP ソフトウェアで、HP 診断チャートを開きます。HP 診断チャートは、内臓 Web サーバの <http://ip-addr/hp/device/webAccess/images/new.tif> から入手できます。ip-addr は、使用している

プリンタの IP アドレスです。または、Web サイトの <http://www.hp.com/go/l25500/manuals/> から診断チャートを見つけることができます。

10. 印刷パス数を選択します。[45 ページの「パス数を選択する」](#)を参照してください。
11. チャートを印刷します。
12. 印刷中に素材の詰まり、インクの汚れ、または素材の破損が生じた場合は、『メンテナンスおよびトラブルシューティング ガイド』を参照してください。
13. 印刷されたプロットでインク量を確認し、必要に応じて調整します。[46 ページの「素材上のインク量を確認する」](#)を参照してください。印刷はこの段階では完全に乾燥しない場合がありますが、これは正常であり問題ではありません。
14. しばらくすると、印刷は完全に乾燥します。触れたときにインクで汚れる場合は、『メンテナンスおよびトラブルシューティング ガイド』を参照してください。
15. 印刷品質の問題に気づいた場合は、『メンテナンスおよびトラブルシューティング ガイド』を参照してください。
16. 高速で印刷する場合は、[48 ページの「高速印刷」](#)を参照してください。
17. RIP ソフトウェアを使用して、新しい素材のカラー キャリブレーションとカラー プロファイルを行う必要があります。[48 ページの「カラー キャリブレーション」](#)、[49 ページの「カラー プロファイル」](#)、および RIP のマニュアルを参照してください。

プリンタ設定とカラー プロファイルを選択する

素材に適切なプリンタ設定を RIP ベンダーや素材ベンダーから入手できる場合があります。入手できない場合は、一般的な素材や類似の素材からプリンタ設定をコピーすることで開始できます。素材は以下のファミリに分類できます。

素材ファミリ	説明
粘着紙	片面粘着性の PVC フィルム。仕上げは白または透明。ライナーは紙製またはプラスチック製。主な製造工程は 2 つあり、カレンダー加工とキャストリングです。パーフォレイテッド ビニールなどのバリエーションもウィンドウに配置されます。これらの素材の場合、プリントヘッドは自動軸合わせではなく手動で軸合わせを行う必要があります。
バナー	通常は、PVC コーティング加工のポリエステル メッシュ (またはファブリック)。他にリサイクル可能な種類 (エコ バナー) もあります。バナーにはフロントリットとバックリットを使用できます。
フィルム	通常はバックライト用のポリエステル フィルム。ただし、PVC や PC などの他の素材もあります。通常は半透明です。ただし、透明な種類もあります。
ファブリック	通常のファブリック メディアはポリエステル繊維で構成されています。メディアへのインクの侵入を防ぐ、ライナーが付いたファブリック メディアの種類もあります。非常に硬いファブリック素材 (ポリエステル キャンバスなど) は、「低温用フォト調」として取り付けることをお勧めします。
メッシュ	通常は、PVC コーティング加工のポリエステル メッシュ (穴あり)。ライナーが付いたものや粘着性のあるものもあります。
水性インク用ペーパー	コーティング加工あり/なしの紙製 (セルロース) のメディアまたはオフセット用紙。ビルボードとの主な違いは、これらの用紙に溶剤系インクとの互換性がないことです。重量は通常約 100gsm です。
溶剤用ペーパー	コーティング加工された紙製 (セルロース) の素材。溶剤系プリンタで使用できます。通常は制限付きですが耐水性があります。
低温用 HP フォト調の素材	コーティング加工 (光沢およびマット仕上げ) された紙製 (セルロース) のメディア。他のビルボードやオフセットの素材よりも重量があります (200gsm 以上)。主な違いは素材の剛性です。
合成紙	合成樹脂を使用して製造された素材で、合成樹脂は主にポリプロピレン (PP) から押し出されています。プラスチック フィルムと類似した特性があります。ただし、外観と性質は木材パルプから製造された通常の用紙に類似しています。

以下には、各素材ファミリの推奨するデフォルト設定の一部を示します。これは、開始点として使用できます。

素材ファミリ	乾燥温度	硬化温度	加熱エアフロー	自動トラッキング (OMAS)	カッター	素材送りの補正	インプットテンション	バキューム
粘着ビニール	55	110	30	はい	はい	0	15	25
バナー	50	110	45	はい	いいえ	0	15	5
フィルム	55	95	30	はい	はい	0	15	25
ファブリック	55	100	45	はい	いいえ	0	15	20
メッシュ	50	95	30	はい	はい	0	15	30
水性インク用ペーパー	45	70	30	はい	はい	0	15	20
溶剤用ペーパー	50	90	30	はい	はい	0	15	25
低温用 HP フォト調の素材	50	80	30	はい	はい	0	15	40
合成紙	50	80	30	はい	はい	0	15	40

上の各種設定を以下で説明します。

設定	説明	低すぎる場合	高すぎる場合
パス	パス数は、プリントヘッドが素材の同じ領域に何回印刷を行うかを指定します。	時間単位あたりに噴射されるインクの量は多くなり、素材でのインクの乾燥時間は短くなります。コアレスセンスとバンディングが発生する場合があります。パス間の境界線が目立ちやすくなります。ただし、印刷速度は比較的速くなります。	色は鮮明で印刷品質は高くなります。ただし、印刷速度は比較的遅くなります。
乾燥温度	印刷領域に熱を加えることによって水分を取り除き、素材にイメージを定着させます。	バンディング、ブリーディング、コアレスセンスなどの印刷品質の問題が発生する可能性があります。	熱で素材の上に跡が付く場合があります。色によって縦方向のバンディングが生じる場合もあります。プラテン上で素材にしわがよる場合があります、縦方向のバンディング、インクの汚れ、または素材詰まりになります。
硬化温度	硬化は、保護膜として機能する高分子フィルムを作成しながら、印刷物に残存する溶解共力剤を取り除いてラテックスを癒着させるために必要です。硬化は印刷イメージの耐久性の確保に欠かせません。	印刷物が完全に重合せずに排出されるため、指でこするとインクが汚れる場合があります。印刷物は、印刷後またはしばらくすると、乾燥してない状態で排出される場合があります。	硬化モジュールで素材のしわが生じると、ライナーの剥がれや気泡などの問題が発生する可能性があります。素材のしわにより、次のプロットで縦方向のバンディングやインクの汚れが発生する可能性もあります。
加熱エアフロー	エアフローは、蒸発した水分を印刷領域から取り除き、効率的な乾燥を可能にします。	通常は、素材ファミリのデフォルト値を使用します。	

設定	説明	低すぎる場合	高すぎる場合
素材送りの補正	プリンタは工場出荷時にキャリブレーションされているため、サポートされている素材を正常な環境条件で使用する限り正確な素材送りが保証されています。ただし、未サポートの素材に印刷する場合や安定しているが通常でない環境条件で印刷する場合には、素材送りの調整をお勧めします。	最大 6 回のパスを使用すると、暗い線が現れます。8 回以上のパスを使用すると、粒状感が現れます。	最大 6 回のパスを使用すると、白い線が現れます。8 回以上のパスを使用すると、粒状感が現れます。
インプット テンション	テンションは、インプット スピンドルから素材に加えられます。素材の幅全体にテンションを均一に加える必要があるため、素材の取り付けは大変重要な操作です。	素材にスキューが生じて、印刷領域でしわが増える可能性があります。素材送りが不規則になり、横方向のバンディングが生じる可能性もあります。	素材が変形したり、損傷する可能性があります。極端な場合、素材送りの問題が発生する可能性があります。
バキューム	印刷領域で素材にバキュームを加えることで、素材が印刷プラテンに押し付けられ、プリントヘッドに対する距離が一定に保たれます。	素材がプラテンから持ち上がって、プリントヘッドに触れる可能性があります。この場合、印刷されたイメージが汚れたり、素材の詰まりやプリントヘッドの損傷につながる可能性があります。	粘着性のある素材の場合、摩擦が高くなりすぎて、素材送りが不規則になり、横方向のバンディングや不規則な粒状感のあるパッチが生じる可能性があります。
双方向	プリントヘッドが双方向（左から右および右から左）に移動しながら印刷する場合に指定します。	双方向を選択すると、時間単位あたりに噴射されるインク量が多くなるため、コアレスセンス、バンディングなどの印刷品質の問題が、特にプロットの両側で発生する可能性があります。ただし、印刷速度は速くなります。	双方向の選択をオフにすると、印刷は単方向になり、印刷速度は比較的遅くなります。ヒント：コアレスセンスやバンディングが両側に発生する場合は、単方向の印刷ではなく、双方向を選択し、パス数を増やしてください。
高インク量	用紙に噴射される最大のインク量（高インク量のオプションは、パス数が 10 以上の場合にのみ使用できます）。インク量は RIP カラー プロファイルによってかなり削減されます。	選択しない場合は、色が剥げ落ちる可能性があります。	選択した場合、インクが過剰になる可能性があるため、乾燥や硬化が不十分になり問題が発生する場合があります。ヒント：バックライト用途や高彩色で印刷する場合に高インク量を選択します。
カッター	プリンタの内蔵カッターは、印刷と印刷の間で素材を自動的にカットできます。	次の場合にカッターを無効にします。 <ul style="list-style-type: none"> 印刷速度を上げる。 巻き取りリールを使用する。 素材を手動でカットする。 素材の先端がカールして、素材の詰まりが発生する可能性がある。 	
自動トラッキング (OMAS)	素材送りセンサー（別名 OMAS）は、印刷プラテンの下に配置され、素材送りを自動的にトラッキングできます。	次の場合にセンサーを無効にします。 <ul style="list-style-type: none"> 素材に浸透性があるため、インクがプラテンに移る可能性がある。この素材の使用後は、センサーのクリーニングを行ってください。 センサーが汚れていたり、特定の素材をトラッキングできないため、センサーを無効にするようにフロントパネルで指示が出る。 	

以下には、詳細設定の一部を示します。独自に解決できない問題が発生しない限り、この設定を変更しないでください。

素材ファミリ	乾燥準備温度 オフセット	硬化準備温度 オフセット	乾燥冷却温度 オフセット	硬化冷却温度 オフセット	10 パス以下 最小乾燥電源	10 パスより大 最小乾燥電源
サポートされて いるすべての素 材	5	0	0	0	0.7	0.4


上の各種設定を以下で説明します。

設定	説明	低すぎる場合	高すぎる場合
乾燥準備温度 オフセット	印刷領域内の素材が印刷開始前に到達 する必要がある温度。	印刷の初期の 200 ～ 300mm で、ブリーディングまたはコア レスセスが発生する場合があります。	印刷開始までの時間を長くする 必要があります。縦方向のパン ディングまたはインクの汚れが 発生する場合があります。
硬化準備温度 オフセット	硬化領域内の素材が印刷開始前に到達 する必要がある温度。	印刷の開始時に乾燥が十分でな いか、印刷がオイル状になって います。	印刷開始時に素材が劣化（気 泡、粘着の剥がれ）します。
乾燥冷却温度 オフセット	素材が損傷なしに乾燥モジュールに存 在できる安全な温度。ジョブの終了時 に、素材が停止するのは、この温度に 到達してからです。	印刷を完了するには長い時間が 必要です。	次の印刷開始時に素材が損傷す る可能性があります。高すぎる 温度で素材が移動を停止したこ とが原因です。これはまれなケ ースです。
硬化冷却温度 オフセット	素材が損傷なしに硬化モジュールに存 在できる安全な温度。ジョブの終了時 に、素材が停止するのは、この温度に 到達してからです。	印刷を完了するには長い時間が 必要です。	カッターが無効な場合、印刷の 終了時に素材が損傷する可能性 があります。
最小乾燥電源	インクが薄く塗られた領域内で素材の 温度を下げないために、印刷中に乾燥 モジュールに加えられる最小電源。	薄いインク領域にブリーディン グやコアレスセスの問題が発生 すると、厚いインク領域になり ます。	特に、パス数が多い場合の余白 やインクが薄く塗られた領域 で、素材が損傷します。

パス数を選択する

パス数を多くすると、印刷品質は改善されますが印刷速度が低下します。

パス	単/ 双方向	粘着 ビニール	パナール	フィルム	ファブリック	メッシュ	水性 インク用 ペーパー	溶剤用 ペーパー	HP フ ォト調	合成紙
4	双	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
6	双	いいえ	可	いいえ	いいえ	いいえ	はい	可	可	いいえ
8	双	可	はい	いいえ	いいえ	はい	はい	はい	はい	いいえ
10	双	はい	はい	いいえ	いいえ	はい	はい	はい	はい	いいえ
12	双	はい	はい	可	はい	はい	はい	はい	はい	可
16	双	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
18*	双	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
20 ～ 28	双	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい

 **注記：** * 他の印刷モードとは異なり、18パスの印刷モードは、1bpp (ピクセルあたり1ビット) の入力データ解像度が1200×1200dpiです。したがって、18パスのメディアプリセットを生成するには、別の既存の18パスから開始するか、またはゼロから開始する必要があります。また、18パスの印刷モードとは異なる印刷モードでプリセットを生成する場合は、18パスのメディアプリセットをコピーしないでください。

略語の説明

- 双：双方向
- いいえ：推奨しない
- 可：処理速度の向上が目的の場合に試す価値がある
- はい：推奨

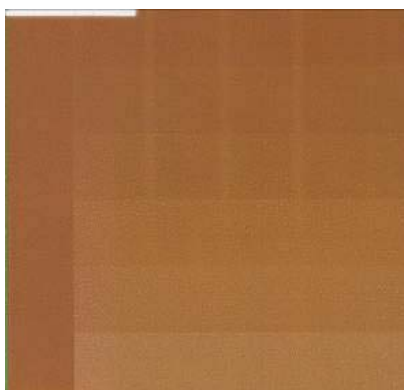
素材上のインク量を確認する

使用するメディアプリセットのインク量が十分であるかどうかを確認します。プロットカラーパッチを参照し、1つ以上のパッチが適切なインク量であるかどうかを以下のガイドラインで確認してください。

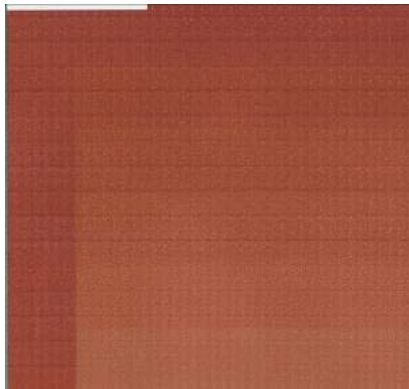
1. **インクが多すぎる：**この問題では、複数の症状が出現します。
 - プロットのスケールで最後の2つまたは3つが同じに見える。



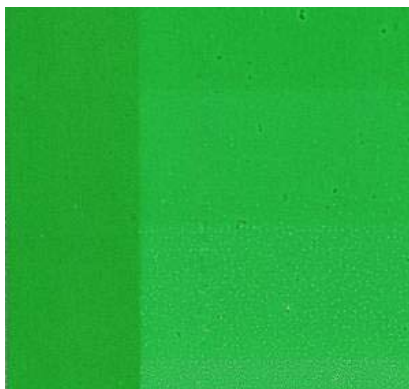
- 縦方向のバンディング。



- 横方向のバンディング。



- コアレッセンス、粒状感。

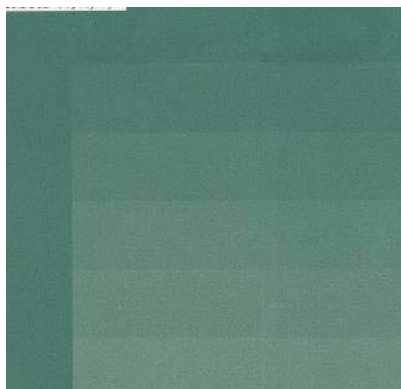


RIP ソフトウェアでインク量を減らしてからチャートを再印刷し、再度確認します。

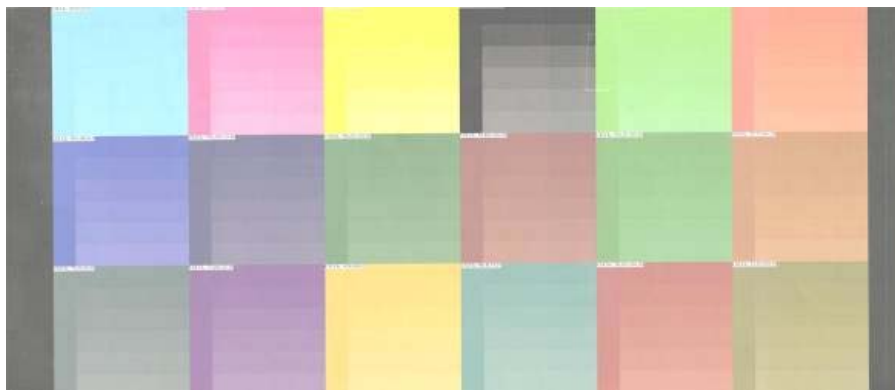
さらに、次のヒントも検討に値します。

- 対象の素材の許容量よりも多くのインクを使用するメディア プリセットを選択している可能性があります。
- RIP のマニュアルを参照し、適用しているメディア プリセットが適切であることを確認します。
- RIP のマニュアルを参照し、メディア プリセットのインク量の合計を減らす方法について確認します。


2. 適切なインク量：パッチに問題はありません。インク量を増やすと、色の濃度が増します。



3. インクが少なすぎる：チャート全体が剥げ落ちたように見えます。



RIP ソフトウェアでインク量を増やしてからチャートを再印刷し、再度確認します。

 **注記：** バックライト素材と一部のファブリック素材は通常、RIP で有効にできる「高インク量」オプションを使用する必要があります。

高速印刷

印刷速度を向上させる明確な方法は、印刷パス数を減らすことです。ただし、これを行うと、印刷品質が低下します。以下の注意事項を考慮に入れてください。

- 10 パス未満の場合、粒状感の増加が目立つことがあります。
- 4 ～ 6 パスの場合、プリンタに素材送りの問題が発生しやすくなります。
- 4 ～ 6 パスの場合、印刷品質を改善するためにインク量を減らす必要がある場合があります。
- 高インク量オプションを使用している場合は、10 パス以上を使用する必要があります。
- パス数を減らすと、最適な硬化温度の決定が難しくなり、周囲の温度と湿度の影響を受けやすくなります。

以下には、印刷速度を上げるためのヒントを示します。

- 各印刷を連結すると、ある印刷物の印刷中に別の印刷物を送信できるため、時間が節約されます。
- カッターを無効します。通常の素材の場合、これを行うと印刷処理の終了時に時間が節約されます。
- 硬化冷却温度を上げます。これを行うと印刷処理の終了時の時間が節約されます。ただし、素材によっては、素材の変形が多少生じる可能性があります。

71 ページの「[プリンタの状態](#)」も参照してください。

カラー キャリブレーション

カラーキャリブレーションを行う目的は、特定のプリントヘッド、インク、および使用する素材に合わせて、また特定の環境条件に応じて、色調を統一することです。カラーキャリブレーションを行うと、さまざまな状況で、プリンタから同じ内容の印刷物を出力することができます。

カラー キャリブレーションは RIP ソフトウェアから起動できます。詳細については、RIP のマニュアルを参照してください。

処理は主に次の手順で構成されます。

1. キャリブレーション テスト チャートが印刷されます。
2. HP 内臓分光測光器 (必要なら、別の分光測光器を使用できます) がテスト チャートのスキャンと測定を行います。
3. その素材で再現性のあるカラー印刷を行うため、計測結果を基に、必要な修正要素が算出されます。

カラー プロファイル

カラーキャリブレーションによって色調を統一することができますが、統一されているからといってカラー精度が高いとは限りません。たとえば、お使いのプリンタがどの色も黒で印刷してしまう場合、色調は統一されていても正確な色ではありません。

正確な色で印刷するためには、ファイル内でカラー値を変換し、使用するプリンタ、インクおよび素材で適切な色が印刷できるように調整する必要があります。カラー プロファイルには、これらのカラー変換に必要なプリンタ、インク、および素材の組み合わせについてのすべての情報が記述されています。

これらの色の変換は、プリンタではなく Raster Image Processor (RIP) で行われます。カラー プロファイルの使用についての詳細は、アプリケーション ソフトウェアおよび RIP のマニュアルを参照してください。

印刷に使用されるカラー プロファイルに加え、モニタ (ディスプレイ装置) もキャリブレーションとプロファイリングを行います。これによって、画面に表示される色が、印刷される色により近くなります。

5 インク システム取り扱い

インク システム コンポーネント

インクカートリッジ

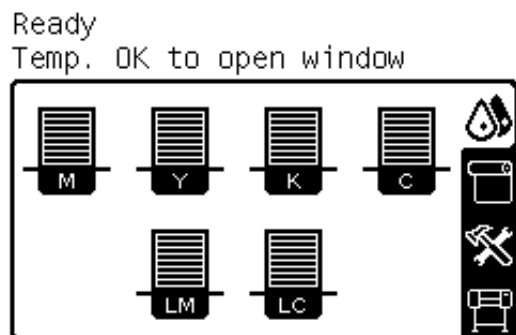
プリンタは6つのインクカートリッジから、マゼンタ、ライトマゼンタ、ブラック、イエロー、ライトシアン、およびシアンの各インクをプリントヘッドに供給します。各カートリッジの容量は775mlです。

インクカートリッジには、保守やクリーニングは必要ありません。各インクカートリッジは、取り付け前によく振ってからスロットにしっかりと差し込むと、プリントヘッドにインクが供給されます。プリントヘッドでページに転写されるインクの量が調節されるため、インクの残量が少なくなった場合でも、高品質の印刷結果が得られます。

- △ **注意：** 静電気の放電に対して敏感なため、インクカートリッジを取り扱う際は、ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。静電気の放電によってデバイスの平均寿命が短くなることがあります。

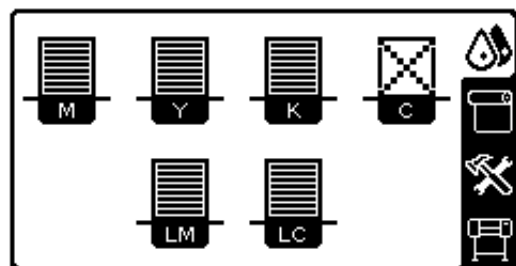
インクカートリッジを交換する

💧 アイコンをハイライトさせると、すべてのインクカートリッジのインク残量を確認できます。



カートリッジのインク残量が少なくなると、フロントパネルに警告メッセージが表示されます。カートリッジが空になると、印刷が停止し、フロントパネルに原因を示すメッセージが表示されます。

C cartridge is out of ink




カートリッジが空になった場合は、新しい HP のカートリッジと交換することをお勧めします。[69 ページの「インク サプライ品について」](#)および[53 ページの「インクカートリッジを交換する」](#)を参照してください。

補充用インクカートリッジや HP 製品以外のインクカートリッジを使用できますが、いずれを使用する場合も、以下の重大な欠点があります。

- プリンタが破損する危険があります。この場合は、カートリッジに関連するプリンタの修理に対してプリンタ保証は無効になります。同様に、インクの汚れによる問題に対してもプリンタ保証は無効になります。
- インク システム全体（インク チューブを含む）を交換するまで、プリンタで引き続き使用される同じカラーのすべてのプリントヘッドの保証は無効になります。
- 印刷品質が低下する可能性があります。
- プリンタはカートリッジ内のインク残量を推定できなくなり、インク残量を空と報告します。

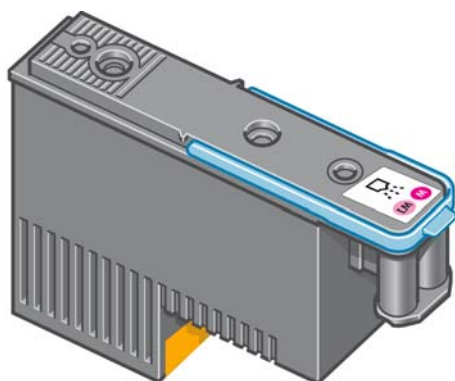
補充用インクカートリッジや HP 製品以外のインクカートリッジを使用するように決めた場合は、次の手順に従って、インク残量が空であると判断したカートリッジをプリンタに使用させる必要があります。

1. カートリッジをプリンタに取り付けます ([53 ページの「インクカートリッジを交換する」](#)を参照)。
2. カートリッジが空であることがフロントパネルで表示されたら、カートリッジの取り外し処理が開始されます。**キャンセル** ボタンを押して、この自動処理を停止します。
3. フロントパネルで、 アイコンを選択します。
4. **[インクカートリッジの交換]** がハイライトされますが、選択しないでください。
5. **キャンセル** ボタンと**上矢印** ボタンを同時に押し、2 秒間以上押し続けます。
6. フロントパネルで一連の警告メッセージが表示されます。各メッセージに対して、**キャンセル** ボタンを押して処理を取り消すか、**選択** ボタンを押して処理の続行を確定します。

すべての警告メッセージに対して **選択** を押した場合は、フロントパネルでインクカートリッジの通常のステータス表示が行われ、補充用カートリッジや HP 製品以外のカートリッジは空の警告サインで表示されます。

プリントヘッド

プリントヘッドはインクカートリッジに接続されており、各プリントヘッドにはインクカートリッジの接点とジェット噴射ノズルが2つずつありますが、これは、1つのプリントヘッドが2つのインクカートリッジに対応していることを意味します。たとえば、下のプリントヘッドの図には、ライトマゼンタおよびマゼンタのインクカートリッジからインクを吸引してジェット噴射するプリントヘッドが示されています。



プリントヘッドの耐久性は非常に優れており、インクカートリッジを交換するたびにプリントヘッドを交換する必要は**ありません**。プリントヘッドにより、インクカートリッジのインク残量が少なくなった場合でも品質は高水準に維持されます。

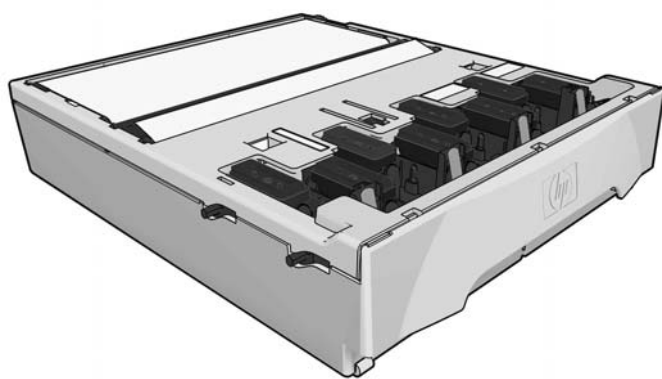
最適な印刷品質を維持するため、自動的に一定の間隔でプリントヘッドがテストされ、必要に応じて修復されます。この処理には少し時間がかかり、印刷速度が遅くなる場合もあります。

最終的にプリントヘッドの交換が必要になると、フロントパネルにメッセージが表示されます。

- △ **注意：** 静電気の放電に対して敏感なため、インクカートリッジを取り扱う際は、ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。これらのデバイスはESD センシティブ デバイスと呼ばれます。[77 ページの用語集](#)を参照してください。静電気の放電は電子製品の主な障害の1つとなります。このような破損によって、デバイスの平均寿命が短くなることがあります。

プリントヘッド クリーニング カートリッジ

プリントヘッド クリーニング カートリッジは、プリントヘッドのクリーニングと保守に使用し、プリントヘッドの未使用時に、プリントヘッドを保護して乾くのを防ぎます。



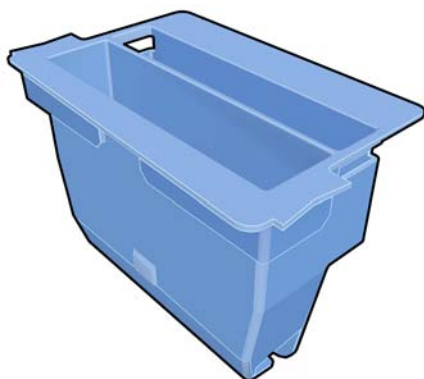
カートリッジには、プリントヘッドのクリーニングに使用する布のロールが含まれています。ロールの使用が90%になると通知されます。

クリーニング ロールの終りが検出されると、印刷ジョブの開始は受け付けられません。プリントヘッド クリーニング カートリッジを新しいものと交換する必要があります。

インク ファネル

インク ファネルは、プリントヘッドの作動中に生じる使用済みインクを収集します。プリンタの他のさまざまな部品へのインクのデポジットを防止するため、このファネルの取り付けは重要です。

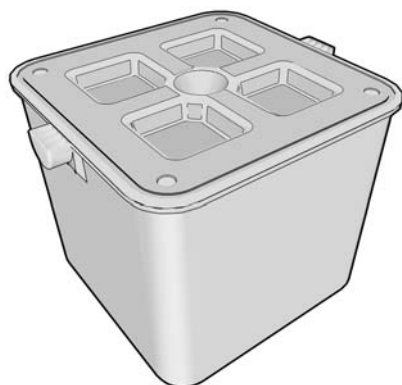
インク ファネルから、使用済みインクはチューブを通過してプリントヘッド クリーニング コンテナに入ります。



- △ **注意：** インク ファネルが取り付けられていない場合や満杯になっている場合、プリンタが損傷する可能性があります。

プリントヘッド クリーニング コンテナ


プリントヘッド クリーニング コンテナは、インク ファネルによって収集された使用済みインクを保管します。




インク システムのヒント

最高の結果を得るために、以下の説明に従ってください。

- インクカートリッジ、プリントヘッド、およびプリントヘッド クリーニング カートリッジは、製品ラベルやパッケージに記載されている保証期限日より前に取り付けてください。

 **注記：** インクカートリッジは通常、保証が終了してからしばらくして期限が切れます。使用期限については、フロントパネルのインクカートリッジ情報を参照してください。

- 取り付け作業中は、フロントパネルに表示される指示に従います。
- プリンタとプリントヘッド クリーニング カートリッジが、プリントヘッドを自動的にクリーニングできるようにします。
- インクカートリッジとプリントヘッドは、できる限り取り外さないでください。
- 印刷中は、インクカートリッジを決して取り外さないでください。必ずプリンタ側でインクカートリッジ取り外しの準備ができた状態で取り外してください。フロントパネルで交換手順が示されます (53 ページの「[インクカートリッジを交換する](#)」を参照)。
- インク システム消耗品を廃棄する際は、適用されるすべての法律や規則に従ってください。

 **注記：** インクカートリッジとプリントヘッドは、よく振ってから取り付けます。53 ページの「[インクカートリッジを交換する](#)」および57 ページの「[プリントヘッドを交換する](#)」を参照してください。

インク システム コンポーネントの取り扱い

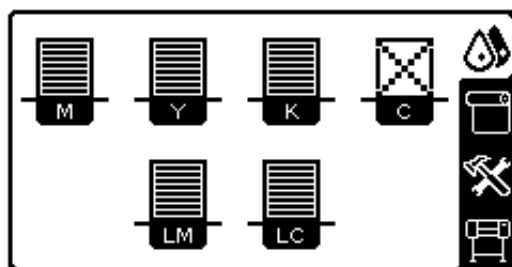
インクカートリッジを交換する

インクカートリッジは、次の2つの理由がある場合、交換する必要があります。

- インクカートリッジの残量が残りがわずかなため、無人での印刷を行うのに十分な量のインクカートリッジと交換する必要がある場合。交換前のカートリッジに残っているインクは、別の機会に使い切ることができます。

- インクカートリッジが空になったか問題があり、印刷を続行するために交換する場合

C cartridge is out of ink




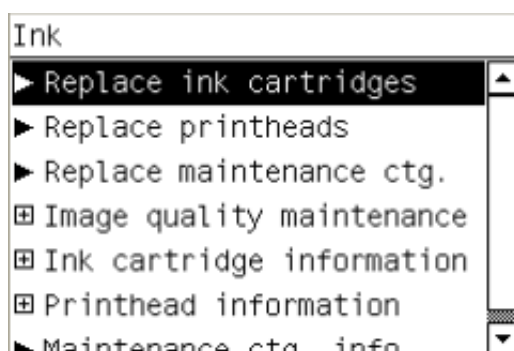
△ **注意：** インクカートリッジの取り外し処理は、フロントパネルで行う必要があります。インクカートリッジはフロントパネルで指示があるまで取り外さないでください。

注意： インクカートリッジを取り外す場合は、新しいインクカートリッジを用意してから行ってください。

△ **警告！** プリンタのキャスターがロックされ (ブレーキ レバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

インクカートリッジを取り外す

1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に「インクカートリッジの交換」を選択します。



2. 取り外すカートリッジの前面にある青いタブをつかみます。



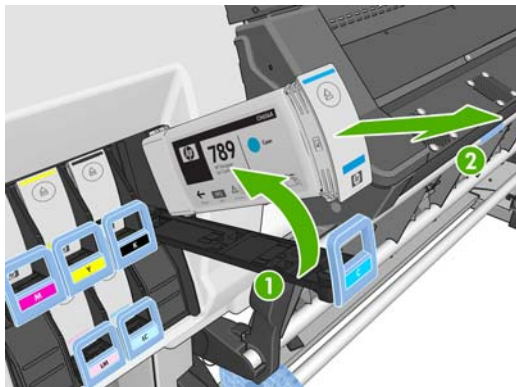
3. 青いタブを下に引いてから手前に向けて外側に引き出します。




4. カートリッジが引き出しに載って出てきます。



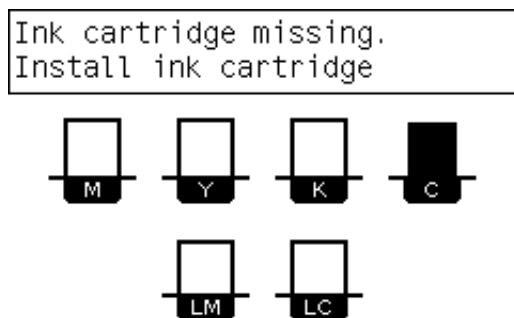
5. インクカートリッジを引き出しから取り出します。



 **注記：** プリンタとの接続部分には触らないでください。接続部分にインクが付着していることがあります。

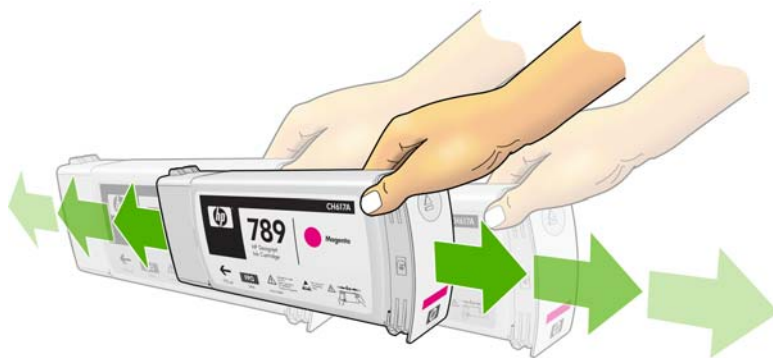
注記： 一部使用済みのインクカートリッジを保管しなければならないときは、プリンタに挿入されていたときと同じポジションで保管します。立てて保管されていた一部使用済みのインクカートリッジは引き続き使用しないでください。

6. フロントパネルに、取り付けられていないインクカートリッジが表示されます。



インクカートリッジを取り付ける

1. 新しいインクカートリッジを用意し、ラベルを参照してインクの色を確認してください。ラベルが手前から見て上部に見えるようにインクカートリッジを持ちます。
2. プリンタの空いたスロットの上部にあるラベルの色と、カートリッジのラベルの色が同じであることを確認します。
3. カートリッジを 15 秒間よく振ります。



4. インクカートリッジを、カートリッジ用の引き出しに取り付けます。

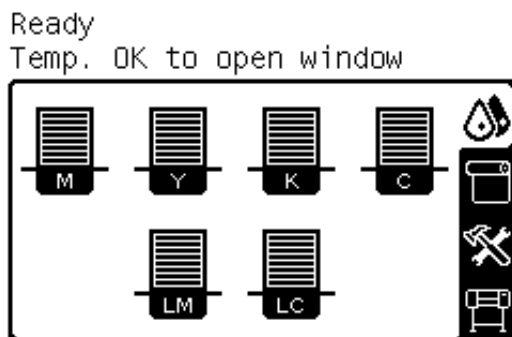


5. カートリッジを設置した引き出しをスロットの中にスライドさせ、所定の位置に固定されるまで押し込みます。



取り付けにくい場合は、『メンテナンスおよびトラブルシューティング ガイド』を参照してください。

6. フロントパネルに、すべてのカートリッジが正しく取り付けられたことが表示されます。




プリントヘッドを交換する

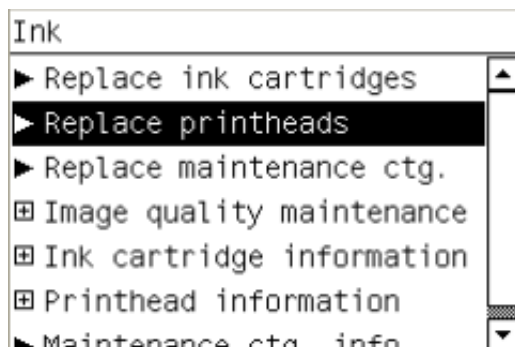
プリントヘッドの交換は、必ず、プリンタの背面にある電源スイッチをオンにしてから行ってください。

- △ **警告！** プリンタのキャスターがロックされ (ブレーキ レバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

警告！ プリンタの温度が下がっていることを確認してからプリントヘッドを取り外してください。プリンタの温度がまだ下がっていない場合はブザーが鳴ります。

プリントヘッドを取り外す

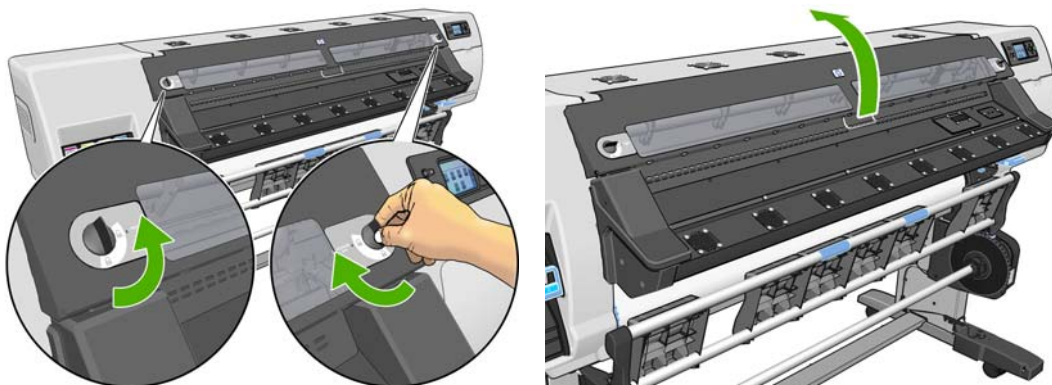
1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に【プリントヘッドの交換】を選択します。



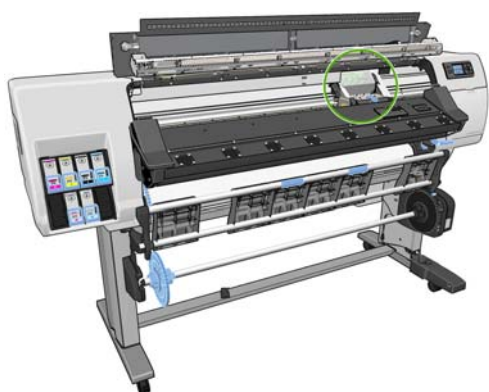
2. キャリッジは取り外し位置に移動します。

△ **注意：** キャリッジは、取り外し位置に移動してから3分以上、プリントヘッドの取り付けや取り外しが行われずに放置されると、右端の通常の位置に戻ります。

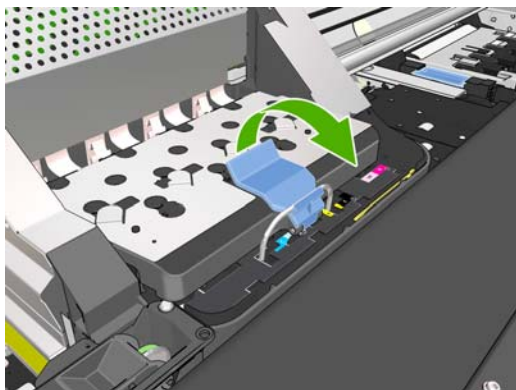
3. キャリッジが停止したら、プリンタのウィンドウを開くようフロントパネルにメッセージが表示されます。ウィンドウのロックを解除して開きます。



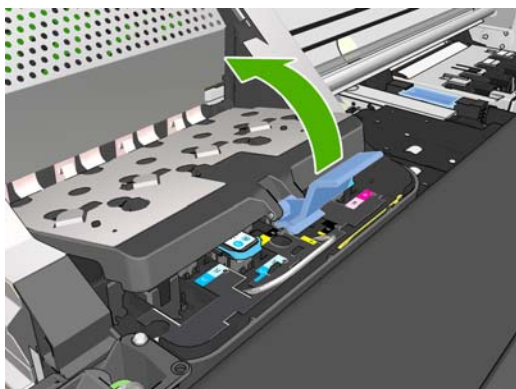
4. プリンタの右側にあるキャリッジを確認します。



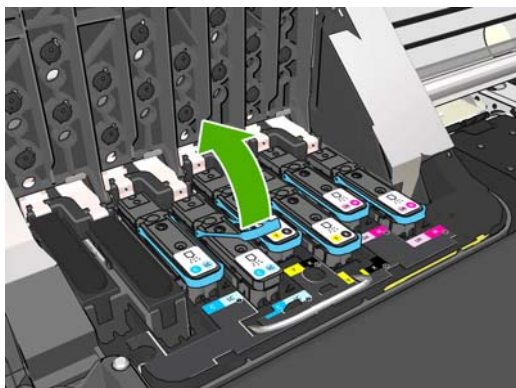
5. キャリッジ上部のラッチを引き上げて、ロックを解除します。



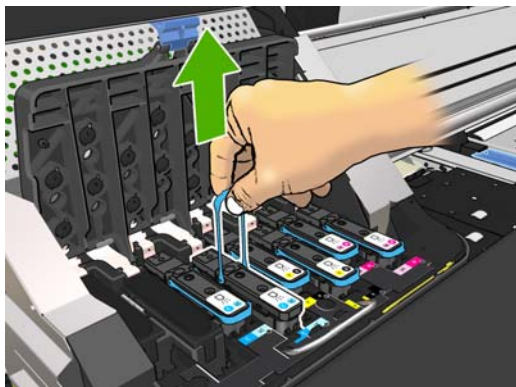
6. カバーを持ち上げます。これでプリントヘッドにアクセスできるようになります。



7. 取り外すプリントヘッドの青いハンドルを持ち上げます。

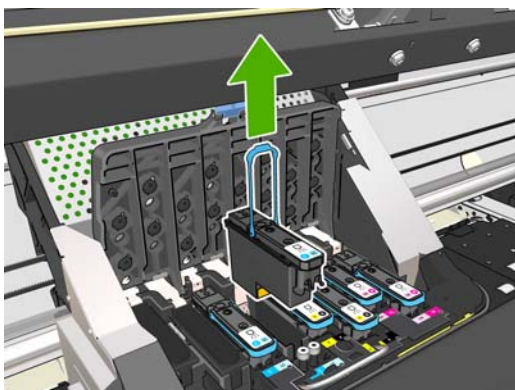


8. 持ち上げた青いハンドルを使用して、プリントヘッドを静かに取り外します。

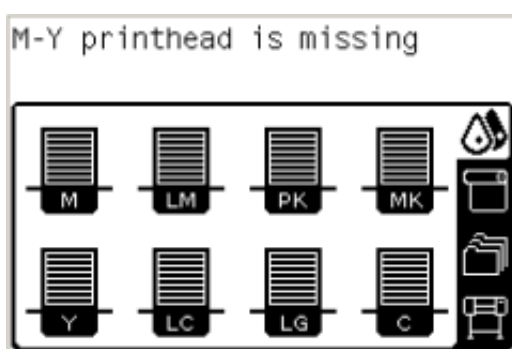


9. プリントヘッドがキャリッジから外れるまで、青いハンドルをゆっくりと引き上げます。

△ **注意：** 急いで引き上げないでください。プリントヘッドに損傷を与える原因となります。



10. フロントパネルに、取り付けられていないプリントヘッドが表示されます。



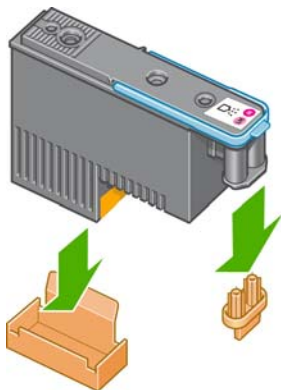
プリントヘッドを取り付ける

1. 新しいプリントヘッドの場合、保護キャップを取り外す前にプリントヘッドをよく振ります。プリントヘッドを上向きにしたまま（保護キャップが下向き）、スムーズな動作で上下に約 15 秒間よく振ります。

🔍 **注記：** 破損の原因となるため、プリントヘッドを振っている間は物にぶつけないようにしてください。

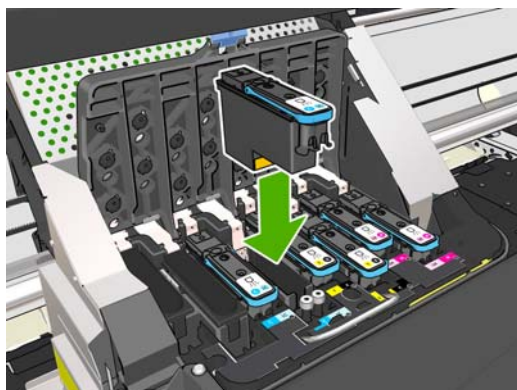


2. オレンジの保護キャップを引き下げて取り外します。

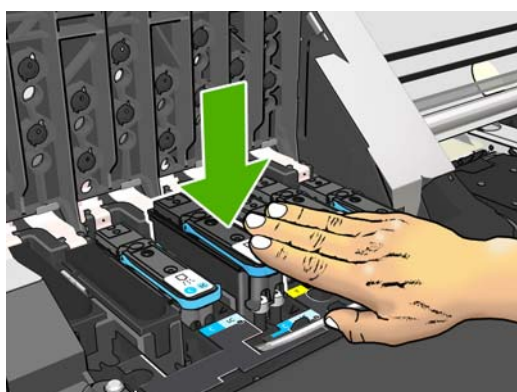


3. プリントヘッドは、間違ったスロットに取り付けられないよう設計されています。プリントヘッドのラベルの色と、プリントヘッドを取り付ける先のキャリッジ スロットのラベルの色が合っていることを確認してください。
4. 新しいプリントヘッドを、キャリッジの該当するスロットに取り付けます。

△ **注意：** プリントヘッドは、ゆっくりと垂直に下ろして取り付けてください。急に下ろしたり、斜めに取り付けたり、取り付ける際に回したりすると、破損することがあります。

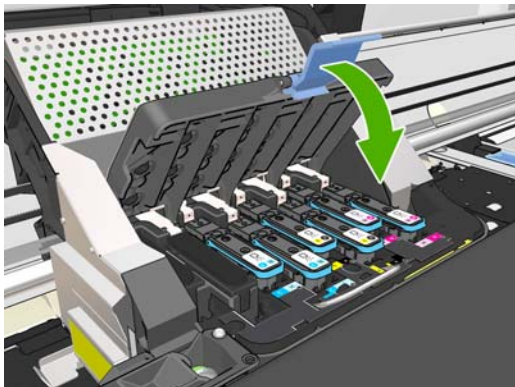


5. 矢印のとおり、プリントヘッドを下に押し込みます。

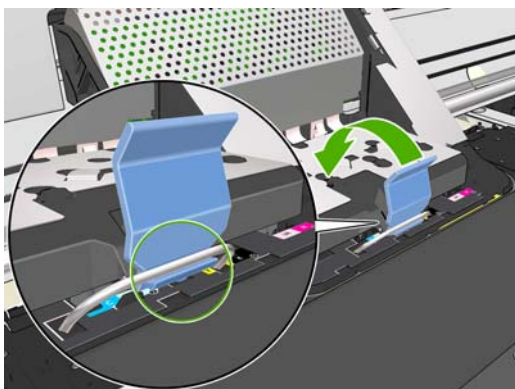


△ **注意：** 新しいプリントヘッドを取り付ける場合は、しっかりと、またゆっくりと押し込んでください。ブザーが鳴り、フロントパネルにプリントヘッドが取り付けられたことを示す確認画面が表示されます。取り付けにくい場合は、『メンテナンスおよびトラブルシューティング ガイド』を参照してください。

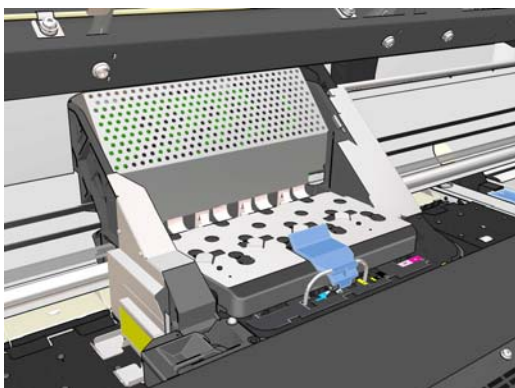
6. 必要なプリントヘッドをすべて取り付けたら、キャリッジ カバーを閉じます。




7. ラッチの先端が、キャリッジの手前側のワイヤー ループに掛かっていることを確認します。



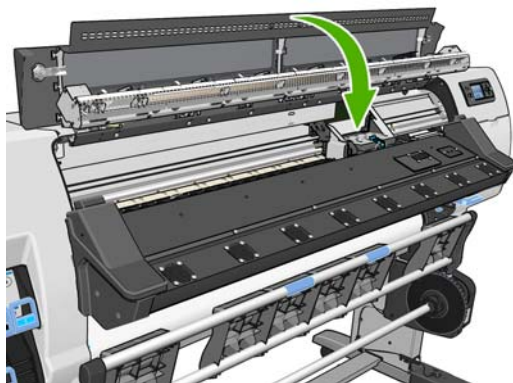
8. ラッチをキャリッジ カバーの上まで押し下げます。



すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられ、プリンタがそれを認識すると、プリンタのブザーが鳴ります。

 **注記：** プリントヘッドを取り付けてもブザーが鳴らず、フロントパネルに「交換して下さい」というメッセージが表示された場合は、プリントヘッドを取り付け直してください。

9. ウィンドウを閉じてロックします。



10. フロントパネルに、すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられたことが表示されます。プリントヘッドの確認と準備が開始されます。すべてのプリントヘッドを交換した場合、通常の処理はデフォルトで最大 18 分かかります。プリントヘッドの準備中に問題が発見された場合、処理にかかる時間が延び、最大で 30 分ほどかかることがあります。プリントヘッドを 1 つだけ交換した場合は、10 ～ 20 分ほどかかります。すべてのプリントヘッドの確認と準備が終了した後、素材が取り付けられている場合は、プリントヘッドの軸合わせが自動的に実行されます。『メンテナンスおよびトラブルシューティング ガイド』を参照してください。

プリントヘッド クリーニング キットを交換する

フロントパネルでプリントヘッド クリーニング キットを交換するように要求されたら、最初にプリントヘッド クリーニング カートリッジ、次にインク ファネル、最後にプリントヘッド クリーニング コンテナを交換する必要があります。


プリントヘッド クリーニング カートリッジを交換する

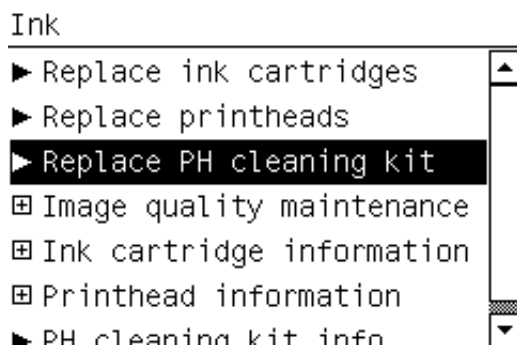
プリントヘッド クリーニング カートリッジがほぼ一杯の場合はフロントパネルにメッセージが表示されます。完全に一杯になると、もう一度フロントパネルにメッセージが表示され、交換が必要となります。プリントヘッド クリーニング カートリッジを取り外す際は、次の注意事項に従ってください。

- 手にインクが付かないように気を付けてください。取り外したプリントヘッド クリーニング カートリッジには、中にインクが残っていたり、外側にインクが付着していることがあります。
- 取り外したプリントヘッド クリーニング カートリッジを扱う際、また保管する際には、インクがこぼれないように、必ず上向きにするようにしてください。

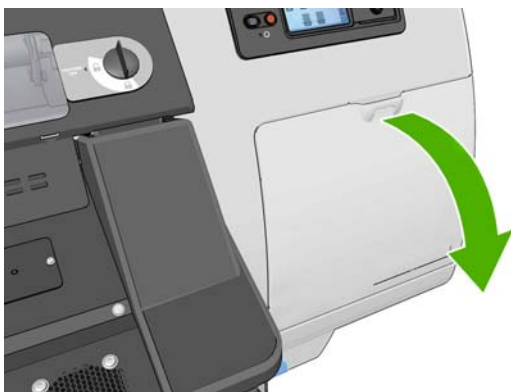
△ **警告！** プリンタのキャスターがロックされ (ブレーキ レバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

プリントヘッド クリーニング カートリッジを取り外す

1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [Replace PH cleaning kit] (PH クリーニング キットの交換) を選択します。



2. プrintヘッド クリーニング カートリッジは、プリンタ前面のフロントパネルの下に位置するスロットにあります。ドアを開きます。



3. プrintヘッド クリーニング カートリッジの前面にハンドルがあります。カートリッジを取り外すには、矢印のように奥に押しながら上向きに押し上げます。カートリッジが固定位置から外れます。



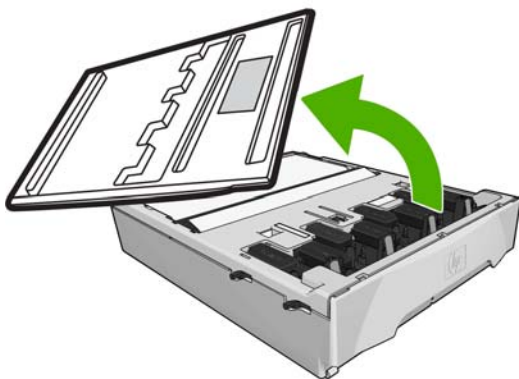
4. プリントヘッド クリーニング カートリッジを持ち上げてスロットから取り外し、水平に取り出します。



新しいプロセス クリーニング カートリッジが入っていた袋は、古いプリントヘッド クリーニング カートリッジを捨てる際に使用できます。

プリントヘッド クリーニング カートリッジを挿入する

1. プラスチック カバーを新しいプロセス クリーニング カートリッジから取り外します。




2. プリントヘッド クリーニング カートリッジを、該当するスロットに、下の図の矢印の方向に挿入します。




3. プリントヘッド クリーニング カートリッジが奥まで入ったら、下の図の矢印のように、奥に押しながらカチッと音がするまで下方方向に押し下げます。



 **注記：** ドアを閉めるまで、フロントパネルに新しいプリントヘッド クリーニング カートリッジは表示されません。

4. プリントヘッド クリーニング カートリッジをプリンタに取り付け終わったら、ドアを閉めます。



 **注記：** 印刷を続行するには、インクカートリッジ、プリントヘッド、プリントヘッド クリーニング カートリッジをすべて取り付ける必要があります。

5. 素材が取り付けられていない場合は、フロントパネルに素材の取り付けを指示するメッセージが表示されます。

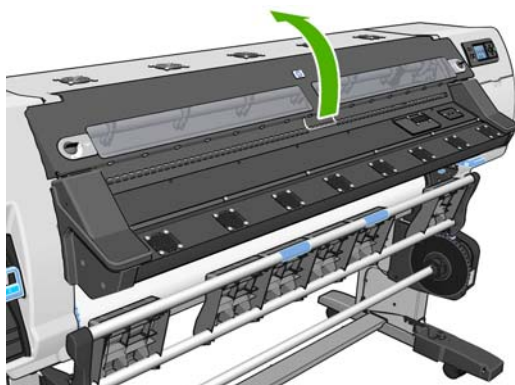
サプライ品を交換したら、プリンタのウィンドウとプリントヘッド クリーニング カートリッジのドアを必ず閉めてください。開いていると印刷は開始されません。

プリントヘッド クリーニング カートリッジの交換が終了したら、インク ファネルとプリントヘッド クリーニング コンテナも交換する必要があります。

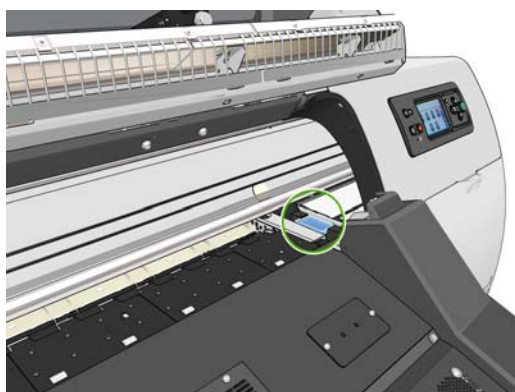
インク ファネルを交換する

プリントヘッド クリーニング コンテナの交換が終了したら、フロントパネルでインク ファネルを交換するように要求されます。

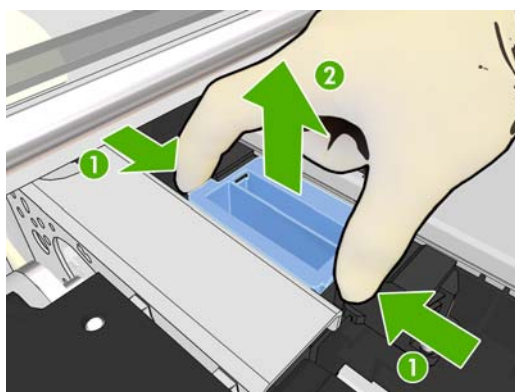
1. ウィンドウのロックを解除して開きます。



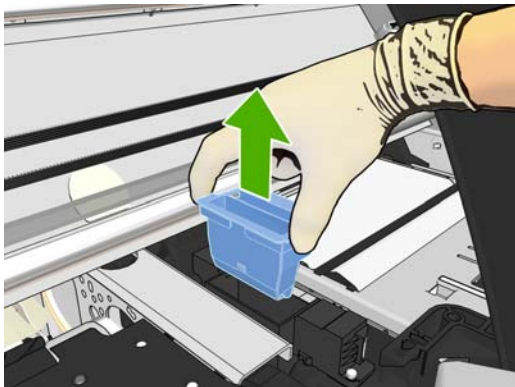
2. インク ファネルの場所を確認します。



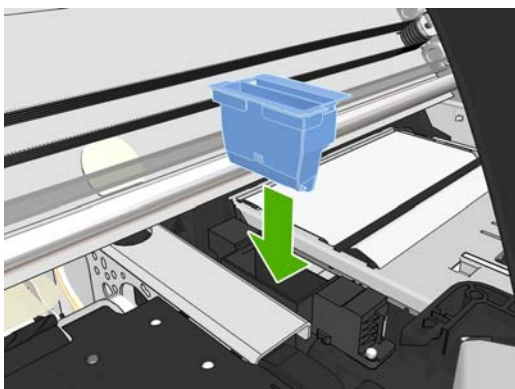
3. インク ファネルを握ります。



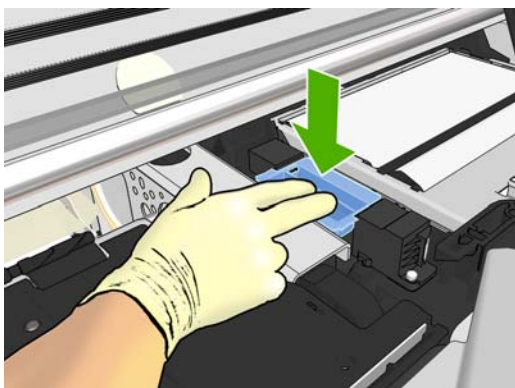
4. インク ファネルを取り外します。



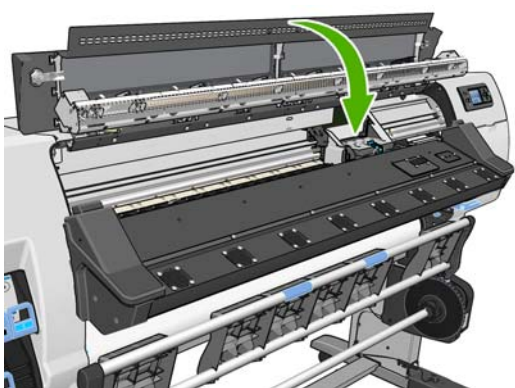
5. 新しいインク ファネルを挿入します。



6. 所定の位置に押し込みます。



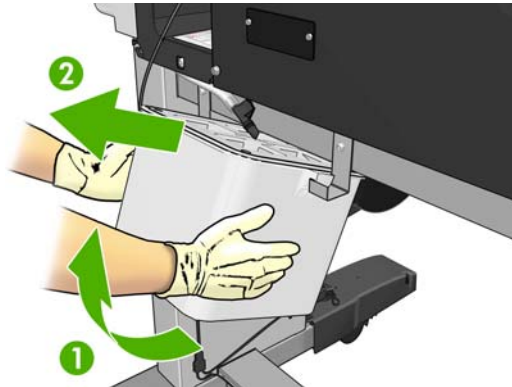
7. ウィンドウを閉じてロックします。



プリントヘッド クリーニング コンテナを交換する

△ **注意：** 手袋をはめることをお勧めします。

1. プリントヘッド クリーニング コンテナを取り外します。



2. 新しいプリントヘッド クリーニング コンテナを挿入します。
3. チューブがコンテナの中央をポイントしていることを確認します。

インク サプライ品について

このプリンタ用にご注文いただけるインク サプライ品は以下のとおりです。

表 5-1 インクカートリッジ

カートリッジ	容量 (ml)	製品番号
HP 789 黒ラテックス Designjet インクカートリッジ	775	CH615A
HP 789 シアン ラテックス Designjet インクカートリッジ	775	CH616A
HP 789 マゼンタ ラテックス Designjet インクカートリッジ	775	CH617A
HP 789 イエロー ラテックス Designjet インクカートリッジ	775	CH618A
HP 789 ライトシアン ラテックス Designjet インクカートリッジ	775	CH619A
HP 789 ライトマゼンタ ラテックス Designjet インクカートリッジ	775	CH620A

表 5-2 プリントヘッド

プリントヘッド	製品番号
HP 789 プリントヘッド イエロー/ブラック	CH612A
HP 789 プリントヘッド シアン/ライト シアン	CH613A
HP 789 プリントヘッド ライト マゼンタ/マゼンタ	CH614A

表 5-3 プリントヘッド クリーナ

プリントヘッド クリーナ	製品番号
HP 789 プリントヘッド クリーニング キット (プリントヘッド クリーニング カートリッジとインク ファネルを含む)	CH621A
HP 789 プリントヘッド クリーニング コンテナ	CH622A

6 印刷オプション

プリンタの状態

プリンタは次のいずれかの状態にあり、一部は待機が必要です。

- **印刷可能です (コールド)**：プリンタには電源が入っていますがまだ印刷は行われていません。ヒーターはオフです。
- **印刷の準備を行っています**：プリンタはヒーターを暖めており、プリントヘッドによる印刷の準備をしています。1～8分かかります。
- **印刷**
- **硬化**:1.5～5分かかります。
- **終了中**:プリンタは温度を下げており、スタンバイの準備をしています。0.5～5分かかります。
- **印刷可能です (ホット)**：プリンタは印刷可能であり、ヒーターはスタンバイ状態です。
 - 新しいジョブが到着すると、プリンタは**印刷の準備を行っています**に変わります。
 - 10 分間に新しいジョブが到着しない場合、ヒーターはオフになり、プリンタは**印刷可能です (コールド)**に移行します。

プリンタが**硬化** (カッターが無効の場合) または **終了中**の間、すでに印刷されたファイルと同じ印刷モードのジョブが送信されると、プリンタは**印刷の準備を行っています**に移行します。

印刷間の時間を節約するには、同じ印刷モード (同じパス数) のジョブを連結し、カッターをオフにして**硬化と終了中**の状態をスキップします。また、ネスティングを使用して、複数のジョブを同じワークフローで印刷することもできます。

カッターがオンの場合でも、連続するジョブが異なる印刷モードを使用している場合でも、**印刷の準備を行っています**に必要な時間を最小限に抑えるには、遅れなしにジョブを一括して印刷する方が適切です。


マージンを変更する

プリンタのマージンによって、イメージの端と素材の端との間の領域が設定されます。

特定の印刷ジョブのマージンは、RIP ソフトウェアで選択されます。そのジョブが素材の幅を超えた場合、ジョブはクリップされます。

さらに、フロントパネルでは下部マージンに 3 つの設定 (ふつう、狭い、広い) を提供します。[74 ページの 表 8-4 「マージン」](#)を参照してください。カッターが使用されていない場合、この選択は単一印刷にのみ適用されます。下部マージンは、同時に送信される複数の印刷間には適用されません。


フロントパネルで下部マージンを設定するには、 アイコンを選択し、次に **【素材取り扱いオプション】 - 【Extra bottom margin】** (予備下部マージン) を選択します。

 **注記：** RIP でより大きいマージンを設定すると、フロントパネルで設定された下部マージンよりも優先されます。

プリンタの印刷メニューを要求する

印刷メニューには、プリンタに関するさまざまな情報が表示されます。印刷メニューは、コンピュータを使用しなくても、フロントパネルから呼び出すことができます。

印刷メニューを呼び出す前に、素材が取り付けられており、フロントパネルに **印刷可能です** のメッセージが表示されていることを確認します。

印刷メニューを印刷するには、 アイコンを選択し、次に **【印刷メニュー】** を選択し、必要な印刷メニューの種類を選択します。

次の印刷メニューを使用できます。

- [メニュー マップの印刷]:すべてのフロントパネルのメニューの詳細を表示します。
- [現在の設定の印刷]:現在のフロントパネルの設定をすべて表示します。
- [使用状況レポートの印刷]:印刷の合計数、素材ファイル別の印刷数、印刷品質オプション別の印刷数、および色ごとに使用されるインクの合計量を表示します。これらの推定値の正確性は保証されていません。
- [サービス情報の印刷]:サービス エンジニアが必要とする情報を表示します。

7 アクセサリ

アクセサリについて

お使いのプリンタ用にご使用いただけるアクセサリは以下のとおりです。

名前	製品番号
HP Designjet L25500 42 インチ スピンドル (スペアのスピンドルがあれば、種類の異なる素材の交換作業が楽になります)	CQ154A
HP Designjet L25500 60 インチ スピンドル (スペアのスピンドルがあれば、種類の異なる素材の交換作業が楽になります)	CQ155A
HP Designjet L25500 42 インチ (2 インチ) スピンドル	CQ692A
HP Designjet L25500 60 インチ (2 インチ) スピンドル	CQ693A
HP Designjet L25500 ユーザ メンテナンス キット	CQ201A

8 プリンタの仕様

プリンタ機能の仕様

表 8-1 HP No. 789 インク サプライ品

プリントヘッド	イエロー/黒、シアン/ライト シアン、およびライトマゼンタ/マゼンタ
プリントヘッド クリーニング キットおよびプリントヘッド クリーニング コンテナ	特定の色に依存せず
インクカートリッジ	イエロー、黒、マゼンタ、ライトマゼンタ、シアン、およびライト シアン。すべてのカートリッジのインク容量は、775 ml です。

表 8-2 素材サイズ

	最小	最大
幅	584mm (23 インチ) 狭い素材 : 254mm (10 インチ)	1067mm (42 インチ) または 1524mm (60 インチ)
長さ	420mm (16.5 インチ)	外経が最大で 180mm (7.1 インチ) のロール紙

表 8-3 印刷解像度

インク残量	パス数	ハーフトーン解像度 (dpi)	印刷解像度 (dpi)
100%	4 ~ 28 (18 を除く)	300, 600	1200×1200
	18	1200	1200×1200
200%	10 ~ 28 (18 を除く)	300, 600	1200×1200
	18	1200	1200×1200

上記の表は、プリンタがサポートする解像度を示します。RIP がサポートする解像度を確認するには、RIP のマニュアルを参照してください。

表 8-4 マージン

左右マージン	5 mm = 0.2 インチ
上マージン (用紙の上端)	5 mm = 0.2 インチ
下マージン (用紙の下端)	5mm = 0.2 インチ (なし) 100mm = 3.9 インチ (狭い) 150mm = 5.9 インチ (ふつう) 200mm = 7.9 インチ (広い)

物理的仕様

表 8-5 プリンタの物理的仕様


重量 (スタンド部を含む)	161kg (42 インチ プリンタ)
	181kg (60 インチ プリンタ)
幅	1985mm (42 インチ プリンタ)
	2465mm (60 インチ プリンタ)
奥行き	690mm
高さ	1370mm

メモリの仕様

表 8-6 メモリの仕様

標準搭載メモリ (DRAM)	256MB
最大メモリ (DRAM)	512MB
ハードディスク	50GB

電源の仕様

 **注記：** プリンタに電源を供給するために使用する建造物の電気システムのセットアップや設定およびプリンタの設置に電気技術者が必要です。電気技術者が地域の法規に応じた適切な資格を保有していること、および電気の設定に関するすべての情報が入手されていることを確認します。

プリンタでは、次の電気コンポーネントを NEC (National Electrotechnical Code: 米国電気工事規定) などの各国規定に応じて、カスタマーが用意して設置することが必要です。

表 8-7 単相電源仕様

	60 インチ プリンタ	42 インチ プリンタ	60 インチ プリンタ (日本のみ)
電源コードの本数	2	2	2
入力電圧	220-240V~ (-10%+6%)	200-240V~ (-10%+6%)	200V (-10%+10%)
入力周波数	50/60Hz	50/60Hz	50/60Hz
消費電力	4.8kW (両方の電源コード全体の消費電力)	3.5kW (両方の電源コード全体の消費電力)	4.8kW (両方の電源コード全体の消費電力)
最大負荷電流 (電源コード 1 本あたり)	15A	13A	15A

エコロジーに関する仕様

本製品は、欧州連合における WEEE および RoHS 指令に準拠しています。

ENERGY STAR および ENERGY STAR のマークは米国の登録商標で、これらの製品モデルが ENERGY STAR® 認証を取得しているかどうかを表しています。参照：<http://www.hp.com/go/energystar>。

プリンタのエコロジーに関する仕様の最新情報については、<http://www.hp.com/> にアクセスし、「ecological specifications」で検索してください。

動作環境の仕様

表 8-8 プリンタの動作環境の仕様

イメージを最高品質で印刷するための相対湿度範囲	20 ~ 80% (素材の種類により変動)
イメージを最高品質で印刷するための温度範囲	18 ~ 25°C (64 ~ 77°F) (素材の種類により変動)
印刷時の温度範囲	15 ~ 30°C (59 ~ 86°F)
印刷時以外の温度範囲	-25 ~ +55°C (-13 ~ +131°F)
温度勾配	10°C/h (18°F/h) 以下
動作可能な最大高度	3000m (10000 フィート)

 **注記：** プリンタは室内で使用してください。

注記： プリンタやインクカートリッジを気温の低い場所から、気温と湿度が高い場所に移動すると、大気中の水分がプリンタの部品やカートリッジ上で凝結し、インク漏れやプリンタ エラーの原因になることがあります。この場合、凝結した水分を蒸発させるために、プリンタの電源を入れたり、インクカートリッジを取り付けたりする前に少なくとも 3 時間、プリンタやインクカートリッジを放置します。

動作音に関する仕様

表 8-9 プリンタの動作音に関する仕様

アイドリング時の動作音	5.1B (A) 以下
操作時の動作音	7.5B (A) 以下
アイドリング時の音圧	39dB (A) 以下
操作時の音圧	56dB (A) 以下

用語集

ガモット

プリンタまたはモニタなど、出力デバイス上で再現可能なカラーおよび濃度値の範囲。

バキューム プレッシュャ

素材がプラテンに対して平らに保たれるのは、バキューム吸引によります。吸引力は、強すぎても弱すぎても印刷品質に不具合が生じる可能性があります。吸引力が弱すぎると、素材の詰まりが生じたり、プリントヘッドが破損する可能性もあります。

バック テンション

インプット スピンドルにより素材に加えられる逆方向のテンション。バック テンションは、素材の幅全体に対して一定である必要があります。テンションは、強すぎても弱すぎても素材に変形や印刷品質に不具合が生じる可能性があります。

パス

印刷パス数は、プリントヘッドが素材の同じ領域に何回印刷を行うかを指定します。パス数を多くすると印刷品質やプリントヘッドの状態が改善されますが、印刷速度は低下します。

ブリーディング

インクが素材上の別の色の領域全体に広がる印刷品質の問題。

プラテン

プリンタ内にある平らな面。印刷中に素材はプラテン上を通過します。

プリントヘッド

取り外し可能なプリンタ コンポーネント。対応するインクカートリッジから1つまたは複数のインクを吸収し、ノズルの集合体を通して素材に付着させます。

I/O

入出力。デバイス間におけるデータのやり取りを説明する用語です。

ICC

International Color Consortium (国際カラーコンソーシアム) の略語。カラー プロファイルの標準化に同意している企業の団体です。

IP アドレス

TCP/IP ネットワーク上で、特定のノードを識別するための固有の識別子。4 組の整数から構成され、各組はドットで区切られています。

LED

発光ダイオード。電氣的な刺激が与えられると発光する半導体機器です。

OMAS

素材送りセンサー (Optical Media Advance Sensor)。印刷プラテンに配置されたセンサー。素材の動きを監視し、素材送りの精度を上げます。

インクの濃度

領域の単位あたりで素材に噴射されるインクの相対量。

エアフロー

空気を印刷領域に送ると、乾燥処理時間が短縮されます。

カッター

プラテン上を前後にスライドして素材をカットするプリンタのコンポーネント。

カラーの一貫性

大量の出力でも、またプリンタを変えても、特定の印刷ジョブの同じカラーを印刷する機能。

カラー精度

元のイメージにできるだけ忠実な色あいを印刷する機能。色域はすべてのデバイスで限定されているため、特定のカラーについて色を完全に一致させることができない場合があります。

コアレスセンス

インクが素材上の同じ色の領域内に広がる印刷品質の問題。

コックル

素材が完全に平らでなく、浅く波打っている状態。

スピンドル

ロール状の素材を支えるために印刷に使用する棒。

ノズル

プリントヘッドにある多数の小さな穴の 1 つ。インクはこの穴を通して素材に噴射されます。

ファームウェア

プリンタの機能を管理し、プリンタに半永久的に保存されます (アップデート可能)。

乾燥中

素材を印刷領域で加熱してインクを乾燥させ、その素材にイメージを定着させます。乾燥温度は、高すぎても低すぎても印刷品質に不具合が生じる可能性があります。

硬化

素材を硬化領域で加熱してラテックスを癒着させます。これにより、保護膜として機能する高分子フィルムが作成され、同時に印刷物に残存する溶解共力剤も取り除かれます。硬化は印刷イメージの耐久性の確保に欠かせません。硬化温度は、高すぎても低すぎても印刷品質に不具合が生じる可能性があります。

最小乾燥電源

インクが薄く塗られた領域内で素材の温度を下げないために、印刷領域に加えられる最小の熱。最小電源を低くすると、印刷品質に不具合が生じる可能性があります。最小電源を高くすると、特に、パス数が多い場合の余白やインクが薄く塗られた領域で、素材が破損する可能性があります。

素材

印刷されるために設計された、材質が薄くて平らなもの。紙や他の物質から作られています。

素材送りの補正

印刷パス間の素材送りに対する微量の調整。これにより、さまざまな種類の素材の特性を補正します。プリンタは通常この調整を自動的に実行します。ただし、HP がサポートしていない素材や通常でない周囲の温度や湿度に対して、再キャリブレーションの必要が生じる場合があります。素材送りの補正が正しくない場合は、8 パス未満でバンディングが発生し、8 パス以上で粒状感が目立つようになる可能性があります。

双方向

双方向印刷は、プリントヘッドが双方向に移動しながら行う印刷です。これは印刷速度を上げます。

単方向

単方向印刷は、プリントヘッドが単方向にのみ移動しながら行う印刷です。印刷速度は双方向よりも遅くなります。通常は双方向で印刷され、パス数を増やすと、印刷品質が改善されます。

索引

あ

アクセサリ
 注文する 73
新しい素材を追加する 41
厚い素材の取り付け 25
安全に関する注意事項 1
安全ラベル 3

い

インクカートリッジ
 概要 50
 交換 51
 仕様 74
 注文 51
 補充 50
インクカートリッジの補充 50
インク システムのヒント 53
インク ファネル
 概要 52
 交換 67
印刷解像度 74
印刷速度の遅れ 48
印刷メニュー 72

う

薄い素材の取り付け 25

え

エコロジーに関する仕様 75

か

解像度 74
カラー プロファイル 42
カラー キャリブレーション 42

き

キャリブレーション
 カラー 42

け

警告ラベル 3
警告 3
言語 13

こ

高速印刷 42
高速に印刷する 42

し

仕様
 インク サプライ品 74
 印刷解像度 74
 エコロジーに関する 75
 素材サイズ 74
 電源 75
 動作音 76
 動作環境 76
 ハードディスク 75
 物理的 75
 プリンタ機能 74
 マージン 71
 メモリ 75

す

スリープ モード待ち時間 14

せ

前面図 5

そ

素材サイズ (最大と最小) 74
素材
 新しく追加する 41
 概要 16
 サポートされているファミ
 リ 16
 情報の表示 39
 ヒント 16
 保管 40

ち

注意 3
注文する
 アクセサリ 73
 インクカートリッジ 51
 プリントヘッド 69

注文

 プリントヘッド クリーナ 70

て

電源の仕様 75
電子メール アラート 14

と

動作音に関する仕様 76
動作環境の仕様 76

な

内臓 Web サーバ
 電子メール アラート
 alerts 14
内蔵 Web サーバ
 アクセス 8
 言語 15

は

ハードディスクの仕様 75
背面図 6

ふ

物理的仕様 75
プリンタ機能の仕様 74
プリンタに接続する 10
プリンタの状態 48
プリンタの主な機能 4
プリンタの主なコンポーネント 5
プリンタの機能 4
プリンタのコンポーネント 5
プリンタをオン/オフにする 7
プリンタを再起動する 13
プリンタを接続する
 接続方法 10
プリントヘッド
 概要 51
 交換 53
 仕様 74
 注文 69
プリントヘッド クリーナ
 仕様 74

- プリントヘッド クリーニング カートリッジ
 - 概要 52
 - 交換 63
- プリントヘッド クリーニング キット
 - 交換 63
- プリントヘッド クリーニング コンテナ
 - 概要 53
 - 交換 69
- フロントパネルのコントラスト 14
- フロントパネル
 - 言語 13
 - コントラスト 14
 - 単位 14

ま

- マージン
 - 仕様 71
 - 変更 71
- 巻き取りリールを使用する 23
- 巻き取りリール
 - 使用 23
 - モーター 6

め

- メディア プリセットのダウンロード 41
- メディア プリセット
 - ダウンロード 41
- メモリの仕様 75

ら

- ラベル、警告 3

ろ

- ロール紙のプリンタからの取り外し 16
- ロール紙のプリンタへの取り付け :
 - 自動 16
- ロール紙のプリンタへの取り付け :
 - 手動 21
- ロール紙のスピンダルへの取り付け 17